



BULLETIN

2022.10.1 発行第2号 通巻67号

Y's Men International 2021-2022 Japan East Region Bulletin

Our Motto 標語

“To acknowledge the duty that accompanies ever right”
「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」

2021-2022 年度 主題

国際会長 キム・サンチェ (韓国)

主題

“Y's Men with the World”

「世界とともにワイズメン」

スローガン

“Heal the World with Love & Dignity”

「愛と尊厳で世界を癒そう」

アジア太平洋地域会長 大野勉 (神戸ポート)

主題

“Make a difference beyond the 100th”

「100年を越えて変革しよう」

スローガン

“Be healthy!”

「健康第一！」

東日本区理事 大久保知宏 (宇都宮)

主題

“Think for the next generation.”

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

スローガン

“We are stronger together than we are alone.”

「絆を深める時」

CONTENTS

理事年次報告	1-4	ヒストリアン報告	15
次期理事報告	5	ITアドバイザー報告	15
直前理事報告	5	トラベルコーディネーター報告	15
書記報告	6	広報・伝達 (PR) 専任委員報告	16
会計報告	6	理事スタッフ報告 (副書記・副会計)	17
CS・Yサ事業主任報告	7	東日本区事務所長報告	17
会員増強事業主任報告	7	東日本区担当主事報告	18
国際・交流事業主任報告	7	2021-2022 年度行政監事報告書	19-20
ユース事業主任報告	8	期末決算資料	21-26
北海道部部長報告	9	2021-2022 年度会計監査報告	27-28
北東部部長報告	9-10	2022 年 7 月 1 日現在現勢	29
関東東部部長報告	10	2022-2023 年度代議員名簿	30
東新部部長報告	10	2021-2022 年度年次代議員会議事録	31
あずさ部部長報告	10	2021-2022 年度第 1 回東日本区役員会	32-37
湘南・沖縄部部長報告	11	議事録	
富士山部部長報告	11	2021-2022 年度第 2 回東日本区役員会	38-40
文献・組織検討委員会委員長報告	12	議事録	
LT委員会委員長報告	12	2021-2022 年度第 3 回東日本区役員会	41-45
東日本区ワイズ基金運営委員会委員長報告	13	議事録	
Change! 2022 推進委員会委員長報告	14	2021-2022 年度第 4 回東日本区役員会	46-49
法人推進委員会委員長報告	14	議事録	
		ワイズメネット委員長報告	50

理事年次報告 2021-2022 年度東日本区理事 大久保 知宏



理事年次報告
2021-2022 年度東日本区理事
大久保知宏（宇都宮）

2021-2022 年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年となりました。また、本年度は、一般社団法人として初年度の年でもありました。将来のための組織づくりの一年としたいと考え進めてま

いりましたが、端緒に付いた状態で年度末を迎える形となりました。次年度以降に持続可能な組織づくりを続けていきたいと考えています。

【理事主題】私たちは次の世代のために何ができるか？

“Think for the next generation.

【スローガン】絆を深める時

“We are stronger together than we are alone.”

【重点課題】東日本区が法人化したメリットを最大限に活かす。

新しい生活様式に沿ったクラブ運営を行う。

新しい組織を検討する。

【重点課題達成状況】

東日本区が法人化したメリットを最大限に活かす。

一般社団法人として信用度を高め、会員増強において Change!2022 の目標を達成する。

会員数推移

2021.7.1 現在	2021.7.1 現在	2021.7.1 現在	2021.7.1 現在	2021.7.1 現在
会員数	会員数	増減数	会員数	増減数
800	794	▲6	770	▲30

法人推進委員会を設置し、一般社団法人として基盤構築に取り組む。

法人推進委員会では、法人としての東日本区を活用するための施策を策定中。

一般社団法人として、対外的な情報発信力を高める。

9月1日リリースを目指して東日本区ウェブサイトの再構築を開始。

新しい生活様式に沿ったクラブ運営を行う。

対面にこだわらず、会員の健康を最優先とした運営を行う。

東日本区主催の会議、研修はすべて Zoom 開催とした。

東日本区の Zoom アカウントの7月以降の使用回数：

238 回

新たな環境に対応できるようトレーニングを行う。

体系的なトレーニングは行わなかったが、個別に対応を行った。

個々のネット環境の構築については LT 委員会で検討した。

新しい組織を検討する。

組織力の低下を補う新組織を構築する。

法人推進委員会、文献・組織検討委員会で審議を継続している。

グローバルクラブを設立する。

とちぎ YMCA リーダー OB、沖縄那覇クラブ復活で検討したもの、グローバルメンバーのミッションの策定で難航している。

現役リーダーのユースクラブを設立する。

とちぎ YMCA、盛岡 YMCA、北海道 YMCA で検討したもの、現在の組織との差別化が難しいことから断念した。

【達成目標・実績】次ページ

【活動状況】

1. 緊急支援募金活動

インドコロナ緊急支援（ヒールザワールド）

募集期間：2021 年 3 月～6 月（前年度）

献金総額：626,350 円（5000CHF、檜村メモリアルからの 342,350 円を含む）

献金先：ワイズメンズクラブ国際協会

熱海伊豆山土石流災害募金

募集期間：2021 年 9 月～12 月

献金総額：765,088 円 全体として 3,317,000 円（台北アルファクラブなどを含む）

献金先：静岡 YMCA・熱海市

ミャンマー YMCA 支援募金

募集期間：2021 年 7 月～2022 年 2 月

献金総額：263,658 円

献金先：アジア太平洋地域事務所

ウクライナ難民支援募金（国際協会）

募集期間：2022 年 3 月～4 月

献金総額：848,000 円（JEF からの資金を加えて 100 万円）

献金先：ワイズメンズクラブ国際協会

ウクライナ日本国内難民支援募金（日本 YMCA 同盟）

募集期間：2022 年 5 月～6 月

献金総額：961,650 円

献金先：日本 YMCA 同盟

2. 会議体

◇常任役員会 12 回開催

オブザーバとして、4 事業主任の常時参加を求めた。

◇東日本区役員会 5 回開催
1～4 回は Zoom 開催、5 回は電子的・郵便投票

第 1 回の主な議案と報告事項

議案 沖縄那覇クラブ解散
議案 経理規程制定
議案 ユース事業主任変更
報告 JEF 専用銀行口座開設
報告 ミャンマーへの募金の件
報告 熱海伊豆山地区土砂災害緊急募金の件

第 2 回の主な議案と報告事項

議案 2022-2023 年度 東日本区役員指名
議案 Y's×SDGs Youth Action 2022 事業承認・事業資金拠出の件
報告 ウェブサイト更新作業発注の件
報告 2022-2023 年度 東日本区理事方針
報告 ユース事業 AYC、YVLF

第 3 回の主な議案と報告事項

議案 ウクライナ募金の東日本区ワイズ基金からの支出の件
議案 2022-2023 年度東日本区理事方針の件
議案 2022-2023 年度会計予算承認の件
議案 会津クラブ解散承認の件
報告 「Y's×SDGs Youth Action2022」東日本区からの助成金について
報告 甲府やまなみクラブ（仮称）設立について＞2021/6/11 設立総会

第 4 回の主な議案と報告事項

議案 第 3 回東日本区役員会議事録承認の件
議案 2021-2022 年度東日本区年次報告書および行政監査中間報告書承認の件
議案 2022-2023 年度の次々期理事および 2022-2024 年度財政監事の件

議案 2022-2023 年度役員承認の件（修正）
議案 東日本区文書管理規程制定の件（修正）
議案 東日本区災害等緊急支援基金要項制定の件
議案 東日本区定款施行細則改定の件
議案 臨時代議員会実施の件

第 5 回の主な議案（電子的・郵便投票）

議案 第 4 回東日本区役員会議事録承認の件
議案 年次代議員会議事録承認の件
それぞれの議事結果については議事録を参照

◇代議員会 3 回開催 一般社団法人会員総会を兼ねる。

第 1 回（2021/8/28）

議案 「2020-21 年度東日本区会計決算報告及び Change! 2022 決算報告承認の件」
議案 「2020-21 年度東日本区年次報告承認の件」
議案 「ユース事業主任変更の件」

◇一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区会員総会

議案 「理事及び監事選任の件」

第 2 回（2022/6/4）

議案 2021-2022 年度 東日本区年次報告および行政監査 中間報告承認の件
議案 2021-2022 年度 東日本区中間決算報告および会計監査報告承認の件
議案 次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事承認の件
議案 第 27 回東日本区大会ホストクラブ承認の件
議案 2022-2023 年度東日本区理事方針承認の件
議案 2022-2023 年度 東日本区役員承認の件
議案 2022-2023 年度東日本区予算承認の件
議案 臨時代議員会実施の件
報告 次期（2022-2023 年度）の代議員会議長に長谷川あや子あずさ部部长が選出

【達成目標・実績】

担当	事業名	達成目標	達成実績	達成率	達成クラブ数
キャビネット	PWALP	606,400	327,400	54.0%	25
地域奉仕・YMCA サービス	CS	947,500	826,305	87.2%	40
	ASF	379,000	273,400	72.1%	34
	FF	379,000	270,250	71.3%	32
国際・交流	BF	1,516,000	993,346	65.5%	30
	TOF	985,400	793,000	80.5%	37
	RBM	606,400	481,400	79.4%	33
	YES	379,000	255,050	67.3%	31
	IBC	7 クラブ	0 クラブ	0.0%	
	DBC	2 クラブ	1 クラブ	50.0%	
会員増強	新クラブ	3 クラブ	1 クラブ	33.3%	
	会員増加数	150	-30	▼	
ユース	ユース活動支援	379,000	371,750	98.1%	33
	ユースクラブ設立	3 クラブ	0 クラブ	0.0%	
東日本区ワイズ基金		500,000	410,000	82.0%	
金額合計		6,677,700	5,001,901	74.9%	

第3回（2022/6/28 電子的・郵便投票）

議案 年次代議員会議事録承認の件
それぞれの議事結果については議事録を参照

3. 事業委員会（詳細は各事業主任の年次報告を参照）

◇地域奉仕・YMCA サービス（深尾委員長 委員 11 名）
「日本 YMCA 災害時エリアセーフティガイドライン」説明会（2022/4/1）

「Week4Waste 世界統一活動日（2022/4/2）」アピール
11 クラブ 121 名参加

◇会員増強（大川委員長 委員 8 名）
クラブ活動報告書の提出を求める。

拡大 EMC 事業委員会 9 回開催

◇国際・交流（山田委員長 委員 7 名）
TOF 支援の詳細情報の提供

ミャンマー、ウクライナ情報の発信

◇ユース（相磯委員長 委員 8 名）
ユースボランティア・リーダーズフォーラムを Zoom 開催（2021/9/11・12）

リーダー：28 名参加 カウンセラー：6 名参加

アジア太平洋地域ユース・コンボケーションへのユース
7 名参加（2021/8/7・8）

新事業 iGo の検討の中で国内版（iDo）を検討したが、
未実施

4. 常置委員会（詳細は委員長の年次報告を参照）

◇文献・組織検討委員会（駒田委員長 委員 9 名）
7 答申を受領（2022/3/22）

◇LT 委員会（山下委員長 委員 8 名）
カフェドフレッシュワイズ（2021/8/28）
部長パワーアップワークショップ（次期部長研修会）
（2021/10/30）

事業主任バトンタッチミーティング（2022/2/3）

次期クラブ会長・部役員研修会（2022/3/6）

◇東日本区ワイズ基金委員会（原委員長 委員 4 名）
ウクライナ難民支援のための基金からの支出を決議
（2022/4/14）

◇東日本区奈良傳賞選考委員会（委員長大久保 委員 3 名）
浅見委員の逝去に伴い、渡辺委員を役員会で選任
選考会議を開催（2022/5/9）

5. ワイズメネット委員会（澁谷委員長 委員 9 名）

絵本贈呈を実施（6 月発送）

ワイズメネット献金の実施（11 月～2 月上旬）

国際プロジェクト献金

国際ワイズメネット会費の送金

6. 特別委員会

◇Change!2022 推進委員会（栗本委員長 委員 18 名）
毎月開催・Change!2022 ニュース発行

スマホ専用サイト運用開始

告知用 QR コード付きカード配布

ワイズ・ナイトフォーラム（5 回開催、6 月に第 6 回を開催予定）

◇法人推進委員会（板村委員長 委員 14 名）

7 回開催 以下をタスクチームで実施

教宣動画の作成

一般社団法人としての概要書（法人案内）の作成

サポート体制の構築

7. 東西合同委員会

◇東西日本区合同翻訳・通訳グループ（田尻委員長 委員 13 名）

国際協会発行の文書の日本語翻訳、国際会議等での通訳
業務を担当

国際会長ニュース 11 回

YMI ワールド 3 回

YMI 2020-21 年度事業報告書

◇東西交流実行委員会（古田委員長＜西日本区＞ 委員 19 名）

東西日本区設立 25 周年事業として東西日本区交流会の
実施を決定

スローガン：語ろうワイズの未来！ 共に手を取り次の
100 年へ

ワイズメンズクラブ国際協会は 2022 年に創立 100
周年！

東西日本区は 25 周年！！

日時：2023 年 2 月 4 日（土）午後～5 日（日）午前

場所：ANA クラウンプラザホテル神戸

◇ワイズ・YMCA パートナースHIP検討委員会（山田リエ
ゾン 委員 11 名）

新事業 Y's×SDGs Youth Action2022 実施

2022/3/6 審査会で次ページ事業を支援事業として採用し
た。（Y's×SDGs Youth Action2022 実施一覧）

8. 国際協会設立 100 周年記念アジア太平洋地域事業

SongFest、Food,Culture and Heritage

9. 国際投票

2022 年 1 月国際投票が行われ、2 月 2 日に選挙結果が公
表された。

東日本区関東東部川越クラブの利根川恵子さんが

2022-2024 年度の国際議員、2023-2024 年度のアジア太
平洋地域会長に選出された。

なお、東日本区の投票率は 69.8%に留まり、対策が必要

10. 東日本区大会（2022 年 6 月 4 日～5 日 Zoom 開催
最大 189 アカウント参加）

1. 開会式：YMCA ユースによるキャンプソングとウ
クライナ支援に関係する歌やビデオを届けた。開会点
鐘。ワイズソングは地元教会員によるコーラス。バナー
セレモニーは、YMCA スタッフの協力による 58 クラ
ブのバナーが画面上に紹介され、全部のバナーが一堂
に集まるという動画で行われた。来賓祝辞は、キム国
際会長、田口同盟総主事、鷹箸とちぎ YMCA 理事長、
大野アジア太平洋地域会長、新山西日本区理事によっ
て行われた。メモリアルアワーでは亡くなった方々の
ワイズ、YMCA 運動への貢献への感謝が述べられた。

2. 東日本区アワー I：理事報告、代議員会報告、部長
報告が行われ、その後はワイズ創立 100 周年記念式典

（台湾）や東西日本区 25 周年交流会（神戸）へのアピールが行われた。

3. 「ウクライナ情勢と YMCA・ワイズの在り方」：ヨーロッパ YMCA 同盟総主事とのインタビューが流された。ウクライナからの難民 4 万人を YMCA 経由でヨーロッパ各国の YMCA によって各地で支援されている。次のインタビューはワイズの立場からデンマーク区次期理事の Birkback さん、ワイズのデンマーク区にはウクライナをはじめ、隣国のモルドバ、ポーランド、スロバキア、ルーマニアなどが含まれ、350 人程の会員がいて、難民への支援活動にデンマーク区が資金提供しているというもの。3 番目のインタビューは、日本 YMCA 同盟総主事の田口さんと大久保、山田がインタビューしたもので、日本 YMCA 同盟が受け入れている 120 名のウクライナ難民への支援活動の内容などが紹介された。募金協力も呼び掛けられた。一日目終了。

4. 聖日礼拝：5 日午前 8 時半から礼拝が行われた。宇都宮東の鈴木さんのご協力の元、峰町キリスト教会の安食牧師のお話、コーラス隊の人たちの協力で行われた。

5. とちぎ YMCA 高校生グループによる活動報告：子どもの貧困をテーマに活動が始まり、高校生主体で子ども食堂を実施している。この活動は、今年のユースアクションプロジェクトとしてワイズと YMCA による助成金も得ている。

6. 東日本区アワー II：事業主任 4 名とワイズメネット委員長による事業報告と表彰結果が発表された。50 年以上ワイズ会員歴のある 19 名のゴールドメンバーが

紹介された。理事表彰として、最優秀クラブ（東京グリーンクラブ）、会員増強ブースター賞（甲府 21 クラブ）などが発表された。

7. 閉会式 理事引継ぎ式は、事情により延期となり、閉会式を行った。次回第 26 回東日本区大会開催ホストである甲府 21 のアピールビデオが紹介された。最後に閉会点鐘をもって本大会終了となった。

8. その他の会合 東日本区が主催した以下の会議も Zoom で開催。1) 役員会 6 月 3 日夜、2) 代議員会 6 月 4 日（土）午前中、3) 担当主事会 6 月 4 日の午前中（20 名参加）、4) ワイズメネットアワー 6 月 4 日の夜（38 名）、5) ユースアワー 6 月 5 日の午後（43 名）

11. その他

- ・アジア太平洋地域憲法改正議案についてのクラブ会長説明会開催（2021/7/17）
- ・東日本区の投票率は 45%に留まり、対策が必要
- ・ハンドブック&メンバーシップ ロースターデジタル発行（2021/9/26）
- ・「祈りの輪」の日プログラム実施（2021/12/8）
- ・Be Healthy Program の開催（2022/5/10～2022/5/31）
広報不足により参加者は 10 名に留まった。

一年間の皆さまの東日本区へのご協力に対して深く感謝いたします。

(Y'sxSDGs Youth Action2022 実施一覧)

No.	選考チーム名称および企画名	支援金	備考（推薦団体等）
2	とちぎ YMCA 高校生ボランティアグループ「つぼみ」 みんなの居場所作りを目指して「つぼみ食堂」を展開したい	100,000 円	宇都宮クラブ
5	富士宮高校会議所 げんび SDG s 実践「マスマス元肥を使って富士宮をマスマス元気に！！」	200,000 円	富士宮クラブ
6	盛岡 YMCA 子どもの人権チーム 子どもの人権プロジェクト	200,000 円	盛岡 YMCA もりおかクラブ
7	オール熊本 YMC リーダー会 ぷらっとほーむ ～いつまでも私たちの居場所に～	200,000 円	
9	NPOSalamatA&Philippines Sky Light Project (PSP) ともに希望の絵本・ともに奏でる教科書・海を越えて届ける！	200,000 円	埼玉 YMCA 所沢センター 所沢クラブ
10	日星高等学校 看護科 20 期生 西舞鶴商店街活性化プロジェクト	175,000 円	
11	「まちごとキッズスペース」プロジェクトチーム 放課後学舎「まちごとキッズスペース」プロジェクト	200,000 円	滋賀 YMCA
13	中央大学 国際ボランティアサークル「ひつじくも」 クリーンな街づくり計画	60,000 円	日本 YMCA 同盟 学生 YMCA 事務局
15	滋賀 YMCA アウトドアクラブ・リーダー会 「風の谷キャンプ場 ハニーワールド・プロジェクト」	200,000 円	滋賀 YMCA
16	山梨 YMCA ユースリーダー会 やまなしアクション！ 2022	200,000 円	山梨 YMCA 甲府 21 クラブ

次期理事 佐藤 重良



東日本区 区報 2号 次期理事
としての報告
佐藤 重良 (甲府21)

大久保知宏理事を補佐し、次期の理事としての立場で 区内の状況把握に努めました。

その内容は、次期のキャビネット会議延べ15回実施、大久保年度常任役員会13回出席、役員会・代議員会出席延べ7回、国際・ア

ジア太平洋地域 RDE トレーニング他延べ10回出席致しました。各事業委員会・専門委員会・東京事務所人事委員会等出席延べ52回、・東西日本区交流会10回、YMCAパートナーシップ検討委員会6回、クラブ訪問他現状把握、延べ20回等実施してきました。それぞれの会議体等に出席し状況把握に努めました。

1 定款・規則・マニュアル類に関して

東日本区として 長い間蓄積・進化させてきた、定款・規則類・マニュアル類に触れたて感じたことは、各所にきめ細かく、定められていることが認識できました。但し文書類が多くあることですが、どこに どんなものがあるかを 検索することが 簡単ではないことも知りました。初心者でも簡素に検索できるようにしなければと思います。もっと規則・規定類を時代に合った スリムなものにしなければとも感じました。

2 各種委員会・会議等について

各種委員会・会議体については、区のために それぞれの委員会が熱心に案件を検討・審議・答申していただいていることに 敬意と感謝を御礼申しあげる次第です。今後の検討事項は、各種会議体の連携を取り出来る限りスリムなものにして頂きたいと感じました。

3 今後行政監査報告にありますように、本年度の計画に

有って果たせなかった案件について、反省を踏まえ来年度に取り組まなければならないと思います。情報交換・会議体はデジタルを活用して よりスピードと経済を考えたものにしてゆきたいと思いました。またポストコロナ・ニューノーマル時代に対応するように、公平で持続可能な組織で 社会貢献ができますよう 最大の難問であります「会員増強」に取り組めます。

直前理事 板村 哲也



東日本区直前理事
板村哲也 (東京武蔵野多摩)

大久保知宏理事の下、直前理事として奉仕させて頂きました。宮内理事の下で区書記を務めました時から4年連続で常任役員を務めさせて頂いたことになります。長引くコロナ禍の中、引き続き行動制限がありましたがZoomを駆使して区の運営が行われ、多くの

新たな事業が理事の主導の下で具体化し、それらの推進を支援させて頂きました。また、直前理事と同時にアジア太平洋地域 ASF 事業主任も務めさせて頂きました。

2021年7月1日に一般社団法人ワイズメンズクラブ東日本区が設立登記され、法人としての歩みを開始したことにより、法人推進委員会(別記参照)の委員長も務めさせて頂きました。

次期の財政監事候補者として小倉恵一さん(甲府クラブ)を指名させて頂き受諾頂きました。次期の次々期理事候補者については残念ながら期間内に指名を行うまでに至らず、次年度に持ち越しとなりました。早く皆さまにご報告ができるよう努めて参ります。

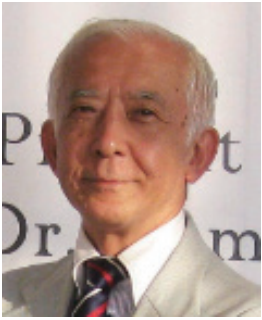
私の今年度の活動状況は、区の役員会、委員会等で私が名前を連ねているものは全て出席(計63回)致しました。またオブザーバーや職責上参加した委員会、研修会、大会その他は計33回となりました。この1年もZoomによるリモート会議等の定着により、過去3年と変わらず幅広く密度の高い職務を務めさせて頂きました。皆さまのご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

次年度は区の役員を離れますが、いくつかの委員会で引き続き尽力して参ります。また東西日本区25周年記念行事(第3回東西交流会)の準備(2020-2021年度より開始)は今後も引き続き進めて参ります。合わせワイズメンズクラブ国際協会創立100周年記念のアジア太平洋地域行事の準備も進めて参ります。

皆さまのご協力をよろしくお願い致します。



書記 衣笠 輝夫



区報第2号原稿
書記 衣笠輝夫（埼玉）

2021-2022 年度の東日本区書記活動は前期の 2021 年 1 月から実質開始された。2021 年 6 月迄は「次期キャビネット打合せ」を次期常任役員に加え次期 4 事業主任に参加いただき実施した。2021 年 7 月からは「常任役員会」として次期キャビネット打合せメンバーに加え、行政・財政両監事はじめ常任役員会出席メンバーにも参加いただき実施した。役員会、代議員会の議案は全て常任役員会で審議し承認を得て作成された。この常任役員会では議案の審議・承認のみならず、定款、規定・規則、理事キャビネット活動手順、東日本区大会手引き等を参照・共有し、過去の実績に捕らわれすぎないように区の運営を行った。その過程で議論された区運営の考え方、プロセス、欠けていた知見、知りえた知見を可能な限り、常任役員会議事録に盛り込み記録とした。

1. 常任役員会案内・アジェンダおよび議事録作成

- (1) 2021 年 1 月 29 日 第 1 回次期キャビネット打合せ
- (2) 2021 年 2 月 20 日 第 2 回次期キャビネット打合せ
- (3) 2021 年 3 月 20 日 第 3 回次期キャビネット打合せ
- (4) 2021 年 4 月 17 日 第 4 回次期キャビネット打合せ
- (5) 2021 年 5 月 22 日 第 5 回次期キャビネット打合せ
- (6) 2021 年 6 月 28 日 第 1 回常任役員会
- (7) 2021 年 7 月 9 日 第 2 回常任役員会
- (8) 2021 年 8 月 2 日 第 3 回常任役員会
- (9) 2021 年 9 月 6 日 第 4 回常任役員会
- (10) 2021 年 10 月 8 日 第 5 回常任役員会
- (11) 2021 年 12 月 10 日 第 6 回常任役員会
- (12) 2022 年 1 月 14 日 第 7 回常任役員会
- (13) 2022 年 2 月 4 日 第 8 回常任役員会
- (14) 2022 年 3 月 11 日 第 9 回常任役員会
- (15) 2022 年 4 月 1 日 第 10 回常任役員会
- (16) 2022 年 5 月 6 日 第 11 回常任役員会
- (17) 2022 年 5 月 20 日 臨時常任役員会（議事録作成中）

2. 役員会案内（依頼事項含）・ワークブック作成および議事録作成

- (1) 2021 年 7 月 10 日 第 1 回役員会
- (2) 2021 年 11 月 6 日 第 2 回役員会
- (3) 2022 年 1 月 16 日 臨時役員会
- (4) 2022 年 4 月 9 日 第 3 回役員会
- (5) 2022 年 6 月 3 日 第 4 回役員会

3. 代議員会案内（依頼事項含）・ワークブック作成および議事録作成

- (1) 2021 年 8 月 28 日 臨時代議員会（一社総会含）
- (2) 2022 年 6 月 4 日 年次代議員会

4. その他

- (1) ハンドブック&ロースターデジタル版作成作業
- (2) 2022 年 5 月 18 日 東西理事連絡会議案内・アジェンダ作成
- (3) 東日本区大会メモリアルアワー物故者情報収集・まとめ
- (4) 東日本区大会東日本区アワー：ゴールデンメンバー情報収集・まとめ

会計 鈴木 伊知郎



会計 鈴木伊知郎（宇都宮東クラブ）

2021 年 7 月 1 日より法人化し、「一般社団法人 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」となりました。法人 1 期目の会計として、任意団体から一般社団法人（非営利型）への移行手続を進めました。

総括として、感染拡大により残念ながら、今期もコロナ前の通常のワイズの予算の執行とは大きく異なる会計年度になったのは残念でした。

また予算策定時より為替相場において円安が進み、国際会費の日本円での金額が予算より上昇し、国際献金等もドル建てに換算すると為替の影響で、実質的に目減りしました。

法人設立にあたり、任意団体であった 2020-2021 期の財産を全額継承しております。法人化後の会計処理方法については、法人化前と大きく変更していません。以前より任意団体として法人とみなした経理処理を行っており、法人に必須とされている複式簿記による経理処理を行っていたからです。

会計報告も、従来通りの収支報告書、貸借対照表、財産目録の形式で作成しました。

法人格を取得したので各種契約及び、銀行口座も法人名義への移行を進めました。

税務官署への税務申告につきましては、法人税の申告は一般社団法人（非営利型）なので、2021-2022 年年度は収益事業は行わなかったため申告は不要になりました。ただし法人住民税の均等割は都条例により納税義務があり、申告提出と都民税 70,000 円の納付義務が発生します。

この 1 年間、副会計の長尾さん、事務所長の小林さんとともに会計の業務を進め、財政監事の漆原さん、行政監事の田中さんより、役員会や中間、確定の会計監査の場面で的確な相談、指導により一般社団法人 1 期目の会計を進められたことを感謝致します。

CS・Yサ事業主任 深尾 香子



地域奉仕・YMCA サービス事業主任
深尾香子（東京多摩みなみ）

新たな始まりに、終わりを楽しむ

7月、着任早々、熱海の災害が発生し、自分の責務を痛感させられることとなりました。現地の状況を誰に訊き、皆さまに対しては、自分を発信源として何をお伝えし、共にどんな働きをす

れば良いのか。これは、到底1人では無し得ないことです。

そこで、先ず現地の旧知の方々へ連絡。次に区の担当主事からYMCAによる支援の状況を聴き、区キャビネットへ報告、区役員会に臨みました。災害発生時は、友人同士でお見舞いの電話やメールが殺到して当然ですが、私達は、ワイズ全体あるいはYMCAと共に行動を起こすことも出来るので「日本YMCA災害時エリアセーフティガイドライン」の存在と、ワイズ内での普及の必要性をこの流れの中でようやく皆さまにお伝えすることが出来て良かったと思っています。次年度も各部、各クラブで一層の学びの機会をお作り下されば区としてお手伝い致します。

その他、ミャンマー支援やTOF他の献金については国際・交流主任。Y's×SDGs Youth Actionでは、YMCAリエゾンとユース事業主任、パートナーシップ委員の方々、タスクチームの方々と。各地のCS・Yサ活動の確認については各部の部長、主査、メネットの方々と。ワイズ100周年事業ではアジア・太平洋地域会長や役員の方々と。ワイズの知名度を上げるためには、会員増強主任とChange! 2022委員会、広報・伝達専任委員と。World Clean up DayやW4Wでは西日本区の地域奉仕・環境事業主任と。新たなクラブ等のメリットを考えるために法人推進委員の方々と。毎週のようにZoomを通じて意見交換させて頂く機会に恵まれました。

区役員の責を頂くことは、広い視野で物事を見られるようになる事と、それに伴い多くの知人を得て、共に真剣に議論する機会が得られる事です。年度を跨ぐことで、皆肩書きは変わりますが、ここで得るお互いの信頼は、必ず実りある対話となって次の100年を歩めると信じます。皆さま、ご縁をありがとうございました。

スタート時は会員数800名、クラブ数59クラブでしたがコロナウィルス感染の影響により行動制限され思うように事業が出来ず、各部、各クラブの例会までも中止もしくはリモートで開催されるようになり、モチベーションが下がる一方ですがあずさ部では甲府クラブが新クラブ設立の為にコロナウィルスにも負けず6月に設立総会まで漕ぎ着けました。チャーターナイトは次年度の9月3日（土）に開催されます。私が唯一リアルで参加したのが最初で最後の出席でした。今期の委員会の中でこの後、新クラブ設立がありそうなのが関東東部で牛久地区に新クラブ設立を目指し、東新部も新宿と新潟に新クラブを作る準備をしているそうです。そして次期の佐藤理事のスタート時は会員数770名、クラブ数58クラブのスタートですが9月に「甲府やまなみクラブ」のチャーターナイトが有りますので9月の会員数が11名プラスの781名、59クラブになります。今期は思うように会員増強が出来ず残念ですが各クラブに置かれましては長期計画を立てて次世代にクラブを引き継ぎできるように若返りを図ってください。

一年間何もできない会員増強事業主任でしたがZoomリモート委員会では沢山の方に出席いただき、色々な情報が共有できたと思います。1年間ご尽力、ご協力いただきありがとうございました。

国際・交流事業主任 山田 公平



東日本区国際・交流事業
2021-2022年度 報告書
国際・交流事業主任 山田公平

1. ミャンマー支援： 2021年2月、ミャンマーでの政治危機が勃発、その後のコロナ感染拡大が急激に進み、国際的な関心が向けられていった。そんな中でミャンマー各地にあるYMCAが一般住民への支援活動を始め、

その応援（募金）の必要性が強く認識された。この状況は2021—22年度のワイズ東日本区としても募金を呼びかけ、集められた募金（263,658円）は、2022年2月にアジア太平洋地域事務所に送金され、ASP地域からの募金と合わせてミャンマーに送られる。

2. ウクライナ支援： 2022年4月のウクライナへのロシア侵攻があり、その結果多くの難民、国内難民が出て、人道的支援が強く求められている状況が起こった。この支援活動は、東日本区として実施された。

3. ユースアクション： この年の特徴は、国際・交流事業、CS/Yサ事業、ユース事業が事業範囲を超えて新しくパートナーシップ検討委員会が行うユースアクションを実施したことある。初年度である今年は、18グループの応募があり、東西日本区で10グループが選考され助成されることになった。具体的な活動は2022年4月以降、2023年1月一杯行

会員増強事業主任 大川 貴久



21-22年度会員増強事業主任

大川 貴久（熱海）

会員増強事業主任としての一年間を振り返って

大久保東日本区理事の下で1年間「ワイズの未来を照らす若返り実行計画」を事業主題として掲げて来ましたが、2021年7月1日

われてきている。これまでのワイズで事業を超えた形での連携が協調されたモデル事業となった。

4. 国際献金：BF961,346 円、TOF772,200 円、RBM468,600 円、YES247,500 円を合わせると東日本区だけでも 245 万円程度集められた。EF に関しては、2 クラブと数名の個人から 100 ドル以上の献金が行われた。

5. 国際・交流事業委員会：3 回 Zoom で開催された。大切なポイントは、各クラブにとって国際献金は、義務として出しているが、これらの使途や意味が十分伝わっていないという声もあり、年度中に国際献金一つ一つの説明書を作り、TOF 献金については具体的な支援先のプロジェクトの説明も行った。東日本区のホームページに掲載してあるが、これらの情報の活かし方をさらに進めていくことが大切であると感じた。

6. IBC と DBC：すでに多くのクラブが IBC や DBC を締結したが、実際の交流はほとんど見られないのが現状である。目標を新たな締結に置くのか、交流を実際に進める工夫をするのか、これらの制度そのものの目標や在り方を再度検討する必要があると感じた。

東日本区大会のユースアワー

2. アジア太平洋地域ユースコンボケーショ

日時：8 月 7 日・8 日

参加者：東日本区 11 名（ユース 7 名）

西日本区 11 名（ユース 4 名）

従来通りの各クラブからの推薦、応募方式では参加者を集めることができず、過去の AYC、IYC 参加経験者、YMCA リーダー、学生 YMCA に絞っての勧誘活動を行い 7 名の登録者を獲得。事前準備として、東西合同のオリエンテーションを開催（8 月 1 日）

ZOOM の恩恵により、アジア太平洋地域の実行委員会ミーティングへの参加、アジア太平洋地域役員、西日本区ユース主任と連携、協力し準備ができた。

3. ユースボランティアリーダーズフォーラム（YVLF）

日時：9 月 11 日、12 日

参加者（ユースリーダー）：30 名（盛岡、とちぎ、仙台、千葉、横浜）

事後、主管の横浜 YMCA、次年度担当の東京 YMCA 山手センター担当と評価会（9 月 25 日）を開催。

4. Y's×SDGs Youth Action2022 プレゼンテーションイベント開催（2022 年 3 月 6 日）

ユース事業主任 相磯 優子



ユース事業主任年次報告書
ユース事業主任 相磯 優子

1. ユース事業委員会（Zoom 形式）

・第 1 回（2021 年 7 月 30 日）

議事内容：AYC、YVLF、年間事業計画

・第 2 回（2021 年 8 月 21 日）

議事内容：YVLF、オープンフォー

ラム Y、IGO

・第 3 回（2021 年 9 月 4 日）兼 YVLF 実行委員会（横浜 YMCA）

議事内容：YVLF、各部大会におけるアピール内容

・第 4 回（2021 年 10 月 15 日）

議事内容：YVLF 決算報告、次年度の YVLF、各部大会報告、各部のユース事業の把握

・第 5 回（2022 年 1 月 21 日）

Y's×SDGs Youth Action2022（公募型ユース活動支援事業）周知

・第 6 回（2022 年 3 月 18 日）

Y's×SDGs Youth Action2022（公募型ユース活動支援事業）

・第 7 回（2022 年 4 月 22 日）

東日本区大会表彰クラブ選定

・第 8 回（2022 年 5 月 20 日）



各部部长



北海道部
北東部
関東東部
東新部
あずさ部
湘南・沖縄部
富士山部

北海道部部长

中村義春



2021～2022年度
北海道部 活動報告
北海道部長 中村義春
◇チミケップキャンプ場ワーク
日時 7月10日(土) コロナ
により2年ぶり各クラブより14名
の参加宿泊棟(キャビン)のペンキ
塗り(防風剤)を行いました。奉仕
の楽しさを満喫できた有意義な1

日でした。

北海道部 CS 資金配布

- ・チャリティーラン参加登録費支援
- ・チミケップキャンプ場の整備、備品及び調達等。桟橋製作支援

◇YMCA サービス(ピンクシャデー)支援

いじめや暴力から子供の心と体を守る教育プログラムを
全国で展開している団体 CAP の指導でスキルを磨
いたYMCAスタッフがYMCA 幼保園の園児を対象にワー
クショップを開催、北海道部は5万円を支援しました。
このほか昨年度事業費ですが、今年度、初めてリモート
形式で開催されたチャリティーランを支えるために30
万円を支援し、リモートならではの地方参加者の広がり
を実現しました。

◇北海道部全会員交流会

日時 11月11日(木)19:00～21時30分ビデオ会議
システム ZOOM によるウェブ会議、方針にともない2年
続きでリモート ZOOM に慣れていただく目的もあり気軽
に交流の場と思い企画しましたが、中々北海道部はクラ
ブによって参加しづらいようです。

部長公式訪問

◇札幌クラブ10月例会

日時 10月19日(火) 方法 ビデオ会議システム
ハイブリット・ZOOM によるウェブ会議、中村と会員増
強事業主査の重堂メン 2名での参加(リモート)
卓話者に山崎 修氏(アルペールビル オリンピックモー
グル(元日本代表))に参加させて頂きました。

◇札幌クラブ12月例会

日時 12月20日(月)入会式に中村と書記山下メンが対
面にて参加 Y,s バッジ着

◇札幌クラブ事業安田文子コンサート

日時 12月21日(火)

◇札幌クラブ・札幌北クラブ合同例会新年会

日時 1月18日(火)、方法 ハイブリット形式 卓話
「若き日の渋沢栄一」

◇例年4クラブ対面での合同新年会コロナにより対面中止
4クラブ揃い合同新年会

◇北海道部大会

対面で予定されていた北海道部大会は2月19日(土)
に東大雪に抱かれた極寒の地、然別湖で開催すべく準備
してまいりましたがオミクロン株感染拡大で中止となり
ました。残念です。

◇第一回評議会

日時 9月9日(木) 方法 ビデオ会議システム
ZOOM によるウェブ会議

第一号～第十一号議案とあり全て承認された。

◇第2回評議会・次期役員研修会

日時 4月29日(金) 方法 ビデオ会議システム
zoom を併用したハイブリット形式、第一号～第五号議
案とあり全て承認された。

- ・部支援 YMCA サービス(ピンクシャデー)ご報告
を受けました。
- ・昨年度部支援 北海道 YMCA チャリティーランのご報
告も頂きました。
- ・次年度部 CS 資金の申し込みを確認しました。
- ・年度内第3回評議会 新たに次年度スムズに引継ぎ申
し合わせ事項

◇第3回評議会

日時 6月9日(木)、方法 ビデオ会議システム
zoom を併用したハイブリット形式

- ・次年度役員顔合せ
- ・2022～2023年度北海道部 CS 資金申請の件
- ・2022～2023年度チミケップキャンプ場ワーク開催の
件
- ・北海道 YMCA 機関紙にワイズ情報を記載するための担
当者のお願い

北東部部長 南澤一右



区報第2号原稿

北東部部長

南澤一右(仙台青葉城クラブ)

●主 題 【続】『変化を楽し
みながら新生北東部を創ろ
う!』

●副 題 With コロナの新体
制を確立しよう!

1. 仙台広瀬川クラブ10周年記
念例会参加(仙台 YMCA、7/3)
2. 那須クラブ例会参加

(ZOOM、7/24)

3. アジア太平洋地域大会参加(ZOOM、8/14)

4. CS・Yサ委員会(ZOOM、7/24)

5. 北東部ミーティング(9/3、9/22)

東新部部長 松香 光夫

6. 宇都宮クラブ例会参加 (ZOOM、9/9)
7. 関東東部大会参加 (ZOOM、10/2)
8. 石巻広域クラブ例会参加 (ZOOM、10/22)
9. 那須クラブクリスマス例会・入会式参加 (12/11)
10. 石巻広域クラブ例会参加 (ZOOM、1/28)
11. 東日本大震災追悼式参加 (石巻、3/11)
12. ナイトフォーラム参加 (ZOOM、4/16)
13. 会議参加
 - ①東日本区役員会 (7/10、11/6)
 - ②拡大 EMC(7/29、8/30、9/29、10/28、11/29)
 - ③仙台青葉城クラブ例会 (6/3)
 - ④部長ワークショップ (10/30)
 - ⑤東日本区役員指名委員会 (3/6)



東新部の活動を振り返って
東新部部長 松香光夫

東新部には東京から新潟にかけて7つのクラブがある。筆頭は90年の歴史をもつ東京クラブ、最も新しいのは2019年創設の町田スマイリングクラブである。と、書いたが、実は新潟を支えるクラブが存在しないのが現状である。現在の7クラブはそれ

ぞれの伝統と、新しさを反映して、それぞれの特色を持った活動をしている。私が部長をお引き受けするに当たって、活動の主題を「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」とした所以である。一方で、私の意識には、新潟に仲間となるクラブが欲しいという願望があったので、上記の主題に加えて「東新部のステンションとSDGs」というスローガンを掲げさせていただいた。

動き出してみると、新潟には70年の活動歴を持つYWCAがあり、キリスト教を基盤に持つ敬和学園という学校(＋大学)も活躍しており、その卒業生が、町田市の教会の牧師として私たちの仲間であることもつながってきて、ご縁のつながりには驚かされている。

最近では新型コロナウイルスの影響や、メンバーの高齢化による日常活動の減衰が感じられるが、一方で、IT化の広がりを利用して新しいつながりも生まれているように感じられる。新しい次期部長に委ねながら、新しい東新部の姿に期待するところが大きい。

関東東部部長 大澤 和子



関東東部活動報告

関東東部部長 大澤和子 (所沢クラブ)

- 1) リモート懇親会
3回の評議会を2回にして、クラブ紹介の他、歌やクイズで楽しんだ。
- 2) 部長通信の発行

対面での例会等がままならないので、意義ある取り組みの紹介や交流を深めるために6回発行

- 3) 女性も輝くワイズ風土を築く
11月2日オンラインによる部大会の講演で立教大学教授萩原なつ子先生による「人生100年時代を生き抜くために今あなたにできること」と題して、消滅可能性都市だった豊島区を、若い女性・行政と共に取り組んだF1会議を通して「住みたい街ランキング1位」へと躍進させた話を聞いた。子育て中の若い女性の力を引き出すことが大事。総勢120人以上の参加。

- 4) EMC活動の推進
4月2日「EMCを考える集い」開催。47名の参加
6人の新入会者をパネラーに、「ワイズクラブに入会して思ったこと」等をテーマに、コーディネーター(工藤次期部長)によるディスカッション。～E:笑顔で M:もっと C:クラブ活動を!～

- 5) YMCAとのパートナーシップの推進
【Y's×SDGs Youth Action2022】に関東東部から入選
チーム名:「NPO Salamata&Philippines Sky Light Project (PSP)」
内容:ともに希望の絵本・ともに奏でる教科書・海を越えて届ける!



あずさ部部長 長谷川 あや子

「道を拓く～愛と協力によって」



あずさ部部長 長谷川あや子
2021-22年度もコロナ禍ではありましたが、Zoomやハイブリッド、又は細心の注意を払いながらの対面例会など工夫や努力をしながらクラブ運営をされてきた様子が伺われました。

【あずさ部憩いの森部大会】初めてのZoom部大会。出席:74名 講演「Do you 農?タネと野菜のエトセトラ」(八王子一並木真ワイズ)

【評議会】ハイブリッド、Zoom、対面とホストクラブと相談しながらの開催でしたが、第2回は講演もあり充実したひとときでした。「持続可能な社会に向かって歩む～身近なところからSDGsを」第3回はホテルメトロポリタン長野にてリアル開催。久しぶりに一堂に会する事ができました。

【部長公式訪問】1年かけて10クラブを訪問。特に松本ク

ラブは第23回アジア賞授賞式、富士五湖クラブは第11回障がい者フライニングディスク大会、サンライズクラブのお散歩例会、たんぼぼ寄席など各クラブの一大イベントに参加した。

【第4回ワイズナイトフォーラム】第二部パネルディスカッションで「あずさ部のCS活動」を担当。甲府、サンライズ、甲府21、八王子、富士五湖クラブのCS活動を紹介しました。

【EMC】「甲府やまなみクラブ」の設立総会が6月11日に開催されました。甲府クラブの70周年記念事業として5年の歳月、努力が実りました。

昨年度に続きコロナ禍の一年でしたが、あずさ部の皆さまのご協力のもと、楽しく活動することが出来ました。ありがとうございました。

湘南・沖縄部部長 若木 一美



湘南・沖縄部 部長 若木一美

第25回部大会は「新型コロナウイルスとの向き合い方」をテーマに29年前から「エイズ文化フォーラム」でお世話になっている医師岩室紳也先生をお招きし、感染症との向き合い方を学びました。

評議会は3回開催し、部内各クラブの連絡調整を図るとともに部主催事業の検討、会員増強方策に

ついて検討しました。

クラブ公式訪問は対面例会開催を選んで訪問し、唯一未訪問だった横浜クラブへは本年7月例会に訪問し、部内7クラブを訪問しました。設立背景の異なる各クラブは特色も異なるため、新会員を紹介する際は居住地だけではなく、その人に馴染むクラブを紹介することがふさわしいと思います。

研修会は今期から「一般社団法人」となった法人化を取り上げ、「法人化で目指すこと」と題し横浜 YMCA 在任中さまざまな法人を設立し、また各種法人団体と接しておられた田口努同盟総主事をお招きし、運営のありかたを学びました。

みなさまのお力添えのお陰でこうして無事に部長職を終えることができました、ありがとうございました。

ところで「部」って何でしょう？任意団体定款では「部」を設けることができるとあり、法人定款では「部」も「部長」も出てきません。各単位クラブが活発に活動し、地理的に近いクラブ間で交流や共働ができれば「こと」は足りるのではないのでしょうか？いつ頃でしたか区中心から部中心に運営したいと発言された方がいらっしゃいましたが、現状

は区から部・クラブへと変わっていません。会長・部長・理事の人選にも今は苦慮しているようです。「たかがワイズ、されどワイズ」も運営面の大きな変革が求められていることを思い、二度めの部長を退任させていただきます。

富士山部部長 小原 進一



富士山部
部長 小原進一(熱海)

富士山部リニューアルの芽

富士山部のメンバー数は前期微減で健闘しておりましたが、後期は減少を止められませんでした。また、富士山部大会を開催中止にしたことは残念かつ、申し

訳なく思います。

富士山部内の各クラブの活動につきましても、コロナ感染の影響を受け、満足に実行できなかった事業は数えきれません。大勢の子供を集めての事業の脆弱さを思い知らされたと共に、限界も感じております。

しかしながら、各クラブは一年間黙っていたわけではありません。年度当初の呼び掛けに答えて、新しくチャレンジした事業がたくさんあります。

静岡YMCA主催で全クラブメンバーの協力のもと、中学生英語スピーチコンテストをZoomで開催しました。沼津クラブは外国人の日本語スピーチコンテストをZoom併用開催で行いました。

どちらも通信環境等で苦労はしましたが、無事に終了しました。

熱海クラブはランタン事業、下田クラブはアサギマダラ事業を開始して富士山部内に展開を考慮しております。

富士クラブ・富士宮クラブは他の団体と共同事業を模索して開始しております。

メンバーが楽しく事業をして懇親会をしてこそ会員増強へつながる。まさに反転攻勢への口火を切った年度であると思います。

終わりに7月3日に発生した熱海伊豆山土石流災害に際しまして、たくさんの募金をいただき感謝申し上げます。



常置委員会・特別委員会

文献・組織検討委員会 委員長 駒田 勝彦



文献・組織検討委員会
委員長 駒田勝彦（甲府21）

文献・組織検討委員会 年次報告

【委員会委員】（敬称略）、小山久恵（東京サンライズ）、栗本治郎（熱海）、駒田勝彦（甲府21）、城井廣邦（東京むかで）、利根川恵子（川越）、本間 剛（東京江東）、宮内友弥（東京武蔵野多摩）、山口貴伸（も

りおか）、若木一美（横浜とつか）、涌澤 博（仙台青葉城）以上10名

オブザーバー：大久保理事、板村直前理事、佐藤次期理事

【活動方針】当委員会は、文献に関することと東日本区の組織に関することを検討する機関です。このために、理事からの諮問事項を審議すること、委員会として必要な課題の取り組みを行なっています。

【開催状況】

第1回：2021年7月27日（火）担当者の決定

- ①寄付金・ファンド用途変更についての検討＝本間、山口
- ②5か年計画 長期計画検討機関設置の内容と可否＝宮内、若木
- ③文書管理規程 公文書内容と管理規則の策定＝小山
- ④既存資料の見直し「理事キャビネット活動の手引き」「マニュアル、パンフレット、書籍一覧」＝利根川
- ⑤会議に関する規則「会議の運営の必要事項」議事進行、委任状＝栗本
- ⑥規則の見直し 既存の委員会の規則見直しと新規作成＝涌澤

第2回：2021年8月27日（金）継続審議

第3回：2021年9月24日（金）継続審議

第4回：2021年11月19日（金）⑤会議に関する規則提案
どおり承認

第5回：2021年12月17日（金）法人推進委員会規則継続審議

第6回：2022年1月21日（金）③④について次回最終案を検討

第7回：2022年2月18日（金）③④⑤を承認、

第8回：2022年3月17日（木）①④⑥を承認

第9回：2022年4月22日（金）③の役員会での議論を検討、承認

第10回：2022年5月22日（金）次期検討事項について

【2021-2022年度文献・組織検討委員会から理事へ答申した事項】

- ①議事進行についての指針（改定案）
- ②法人推進委員会規則（新規制定案）
- ③文書管理規程（新規制定案）
- ④定款施行細則改定〈事務引継ぎ〉（改定案）
- ⑤東日本区災害等緊急支援基金要項（新規制定案）
- ⑥理事キャビネット活動の手引き（見直し案）
- ⑦ハンドブック、マニュアル、書籍一覧（見直し案）

LT 委員会 委員長 山下 真



LT 委員会委員長
山下 真（十勝）

LT 委員会報告

◎オンライン手法の普及・啓発

・LT 委員会が開催するすべての会議・セミナー・研修会がオンラインとなった。

- ・LT 委員会として各クラブ・各部などの各層のオンライン普及を目指しハードの貸し出しなどの側面支援の取り組みを進めたが利用はなかった。
- ・積極的に取り組んでいる階層とそうでない階層のギャップがはっきりとしてきていると思う。

◎手引き・マニュアルの更新

・課題は明確になってきていると思うが具体的な素案の提示に至らなかったのは不徳の致すところであり、次年度にも継続して取り組みたい。

◎研修会の開催

○カフェ ド フレッシュワイズ

8月28日（土）午後13:00-17:00 Zoomによる
オンラインセミナー 参加者 21名

◇ワイズ歴の浅いメンバーの交流の機会づくり（同窓的な仲間づくり）

◇ワイズ理解の醸成に向けた基本セミナー

◇分散会（ワールドカフェ方式）での自由討論

◇参加者からは「楽しかった」と概ね好評だった

◇ただし、目標とするフレッシュなワイズの参加が少なく開催の意義について役員会側の疑問を招き、東日本区大会での開催を断念する。

○部長パワーアップワークショップ 10月30日（土）

13:00～17:00 Zoomによるオンラインセミナー
参加者 32名

◇東日本区・国際・アジア太平洋地域・YMCAの現状と活動計画理解

◇佐藤重良次期理事の方針提示

◇部長としての基本的なスタンスと次期キャビネットからの連絡事項の伝達

◇事例発表「あずさ部長としての取り組み報告」（長谷川あや子 あずさ部長）

◇各部に別れてのテーブルトーク

◇部長と事業主任が必要とされる研修内容は一緒とはならないとの指摘から、部長研修と事業主任の研修会を分けて開催した。

◇各部での部長トロイカ体制の構築を目指した。

◇時期的に年度スタートから間もないということから、コロナで活動の停滞に悩む現部長を支えるために、直前部長の経験を活かし、次期部長がこれからの部活動を現部長と共に取り組むことを促す。その経験を次期部長の活動の充実につなげるという目的で開催したが、趣旨に基づく内容の構築に失敗したと思う。テーブルトークも生煮えだった。

〈つづき LT 委員会委員長 山下 真〉

た。

◇この失敗がその後の研修会の内容に活かされることとなったと考える。

○事業主任バトンタッチミーティング 2月3日(木)

18:30～21:00 Zoom によるオンラインセミナー
参加者 22名

◇佐藤重良次期理事の方針理解と肉付け

◇各委員会の今年度事業進捗状況と次期事業主任の方針提示

◇委員会の垣根を越えた事業主任同士並びに次期キャビネットとの意見交流

◇時期的に、次期理事の方針の提示と重なり、現事業主任の現状報告と次期事業主任の方針提示がうまく噛み合った内容だったと自負している。

◇委員会の横の連携や委員会内部のトロイカ体制の確立という課題の明確化に一定の成果があったと思われる。

○次期クラブ会長・部役員研修会 3月5日(土)

10:00～16:00 Zoom によるオンラインセミナー
参加者 93名

◇東日本区・国際・アジア太平洋地域・YMCA の現状と活動計画理解

◇佐藤重良次期理事方針の徹底

◇分科会

◇待ったなし。会員増強をどうすすめるか? (提起 栗本治郎)

「Change!2022 12月活動期限後をにらみ今こそ行動を」

2.YMCA とともに地域に根差す(提起 山田公平)

「SDGs ユースアクションから始まる新たな YMCA 協働」

3. コロナを超えて やめられない楽しいクラブづくり
(提起 深尾香子)

「世界に地域に仲間に 隣人と共に ~ 法人化はだてじゃない」

◇我々の経験のない長時間のセミナーとなったため、飽きさせないための工夫を重ねた。評価は悪いものではなかった。

◇オンラインで逆に集中できたという意見があったが、どうしても一方方向となりがちだった点については参加者を巻き込むような更なる工夫が必要だと思う。

【LT 委員会】いずれも Zoom 会議

○第1回 LT 委員会 7月16日(金) 19:00～20:15

○第2回 LT 委員会 8月20日(金) 19:00～21:00

○第3回 LT 委員会 10月15日(金) 19:00～21:00

○第4回 LT 委員会 1月20日(金) 19:00～20:15

○第5回 LT 委員会 2月25日(金) 19:00～21:00

○第6回 LT 委員会 5月20日(金) 19:00～21:00



東日本区ワイズ基金運営委員会
委員長 原俊彦 (富士五湖)

東日本区ワイズ基金のご報告

これまで2年ほど高田委員長の下
で JEF の委員を

務めて参りましたが、今年度委員

長を引き継ぐ事

となり、一年間に亘って基金の管理、運用に携ってきました。ただ、この一年間はコロナに明けコロナに終わった年度となり東日本区大会を始め部大会、クラブの周年行事、各種イベントは悉く中止、献金をお願いする機会が極端に減ってしまった為、残念ながら年初の目標 50 万円を達成することが出来ませんでした。

ただ、委員長就任当初からの念願であった「JEF 献金を一般会計から分離し別通帳を作成する。」との目標は小林事務所長のご尽力により実現する事が出来ました。

一年間の献金内容、支出および最終残高は、

* 年初残高 ¥13,100,476

* 一年間の献金額 ¥410,000

* ウクライナ支援 ¥102,000

* 年度末残高 ¥13,408,476

(みずほ銀行の通帳と一致)

となります。

この一年、JEF 委員会の皆様、及びワイズへの皆様方のご協力に感謝申し上げます。

Change! 2022 推進委員会委員長 栗本治郎

Change! 2022 推進委員会報
Change! 2022 推進委員会委員長
栗本治郎（熱海）

2022 年末をゴールとする中期会員増強運動の『Change! 2022』がスタートして3年目最終年になりました。この間、コロナ禍と共に高齢化が進み、新会員を誘う力が弱くなっている大変苦戦しています。委員会ではワイズ紹介サイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』カードを作り各クラブに配布いたしました。また、ワイズの魅力を紹介する『ワイズナイトフォーラム』を5回開催いたしました。6月にも開催いたします。永遠のテーマ会員増強！ With コロナで頑張りましょう！

第1回委員会（Zoom会議）

日時：7月7日（水）19：00～

ワイズ紹介サイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』の件

ワイズナイトフォーラム開催の件

第2回委員会（Zoom会議）

日時：8月4日（水）19：00～

ワイズナイトフォーラムのチラシ、卓話者、パネルディスカッションの検討

第3回委員会（Zoom会議）

日時：9月1日（水）19：00～

第1回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

第4回委員会（Zoom会議）

日時：10月6日（水）19：00～

第1回ワイズナイトフォーラムの報告、反省

第2回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

第5回委員会（Zoom会議）

日時：11月3日（水）19：00～

第2回ワイズナイトフォーラムの報告、反省。

第3回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

拡大EMC事業委員会報告

第6回委員会（Zoom会議）

日時：12月1日（日）19：00～

第3回ワイズナイトフォーラムの報告、反省

第7回委員会（Zoom会議）

日時：1月7日（金）19：00～

第4回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

第5回・第6回のフォーラムの内容について

Change！2022 中間会計決算報告の件

第8回委員会（Zoom会議）

日時：2月2日（水）19：00～

第4回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

第5回・第6回のフォーラムの内容について

第9回委員会（Zoom会議）

日時：3月2日（水）19：00～

第4回ワイズナイトフォーラムの報告・反省

第5回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

拡大EMC事業委員会報告、SNSの広報・広告の活用について

第10回委員会（Zoom会議）

〈つづき Change!2022 委員長 栗本治郎〉

日時：4月6日（水）19：00～

第5回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

Change! 2022 中間決算報告について

『動画で分かるワイズメンズクラブ』サイト改修について
ワイズのYMCAへの広報について（YMCA 機関紙へのワイズコーナー掲載）

第11回委員会（Zoom会議）

日時：5月13日（金）19：00～

第5回ワイズナイトフォーラムの報告、反省

第6回ワイズナイトフォーラムの次第・進行について

『動画で分かるワイズメンズクラブ』サイト改修について
（内容、費用、今後の活用）

第7回拡大EMC委員会報告

法人推進委員会委員長 板村 哲也

法人推進委員会活動報告

法人推進委員会委員長

板村哲也（東京武蔵野多摩）



私たちが属する東日本区は2021年7月1日に法人格を取得し「一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」（以下「一社」）となりました。法人化は2012-2013年度に検討が始まり、長年の皆さまのご努力、ご協力により実現しました。

法人化の目的は法人化そのものではなく、社会環境の変化に適応するとともに、法律で認められた団体として社会的信用のもとに諸活動を拡大し、知名度を向上し、区の発展、拡大を図ることです。法人化のメリットを大いに活用しましょう。

一社の設立により法人化準備委員会が2021年7月7日に解散となり、同年9月6日に下記を目的に法人推進委員会（委員数最大20名）が設置され、活動を続けています。

- ・東日本区のクラブメンバーに対する法人化の意義の理解徹底および法人化のメリットの具体化の実現への取組。

- ・一社の運営体制、事業方針、行動計画等を検討し、それらに関する規定、規則、マニュアル、手順などの作成の方向性を示す。

委員会規則で委員長は直前理事が務めると定めましたので、今年度は私が務めました。今年度は委員会を9回開催し、委員会規則の制定、助成金活用の奨め、一社の名刺表記の制定、ワーキングチームの活動開始などを行いました。一社は法人としてはまだヨチヨチ歩きで、今後体制や運営を強固にして行く必要が有ります。

次年度は大久保直前理事が委員長を務め、以下を目標に活動を続けて参ります。これからも皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

- ・法人化の意義の理解徹底を継続

- ・委員会内ワーキングチーム（4チーム）にて取組中の諸活動の仕上げと実行

- ・法人化のメリットの具体化の実現

ヒストリアン 仙洞田安宏



ヒストリアン

仙洞田安宏（甲府）

ヒストリアン活動報告

今年度は、ロースター & ハンドブックを、印刷での発行は原則としてしない事になりました。大久保理事から、ハンドブック

部分の充実を図りたいとの意向が示され、過去の区大会の詳細、東日本区奈良傳賞、優秀クラブ賞等の記録の掲載に協力しました。

また、12 月が「ヒストリアン（記録）」という強調テーマに設定されました。おそらく、ワイズ 100 周年を見据えてのことだと思います。その 12 月の理事通信に「記録」の重要性について寄稿しました。

10 月 30 日にリモートで開催された「部長パワーアップワークショップ（次期部長研修）」と 3 月 5 日にリモートで開催された、「次期クラブ会長・部役員研修会」に、ヒストリアンからのお願いをしました（部長パワーアップは原稿のみ）。

年度末には、1 年間の活動記録をダイジェストに纏め、区役員会構成メンバーに配布しました。

資料類の保存は以下の通りです。

1. 横浜つづきクラブ 15 周年記念例会プログラムと 15 年の歩み（5 月 28 日記念例会）
2. 仙台広瀬川クラブ 10 周年記念誌（7 月 3 日記念例会）
3. 東京たんぽぽ Y サービスクラブブリテン 20 周年記念号

トラベルコーディネーター 長澤 山泰



トラベルコーディネーター (TC)
長澤山泰（東京）

TC 活動報告 2021-2022 年度

2020 年 6 月の東日本区大会（十勝）に合わせて、南米ペルー・リマから BF 代表ロザンナさん（Y's Men's Club de San Borja）が、ご主人と 2 人で来日の予定でしたが、長引くコロナ禍の影響を受け、

日本の入国制限と来日の際に搭乗を予定していたアエロメヒコ航空の破たん及び再三の運航再開延期の為、来日が叶わず 2 年が経ちました。

昨今、欧米での行動制限が緩和されていることもあって、アエロメヒコ航空が今冬のスケジュールから運航再開の予定であり、ロザンナ夫妻の来日も運航再開に合わせて 11 月上旬に計画、現在査証取得の準備を行っています。今年度は TC としての活動は特に行っていませんが、ロザンナ夫妻のフライトの再予約及び航空券の再発券を計 3 回行いました。

BF 代表ロザンナさんが来日後は在京の部及びクラブを中心に TC が BF 活動&交流のスケジュールを調整します。その後は西日本区と台湾区を訪問、11 月 15 日より 3 日間台北市内グランドハイアットホテルで開催予定のワイズメンズクラブ 100 周年祝賀会に出席してペルーへ帰国する予定で準備を進めております。

具体的な滞在日程が決まりましたら、各部長を通じて、担当クラブでのアテンドをお願いするようになります。私の方は 6 月末日で 9 年間担当しました TC の任務を終えましたので、ロザンナさんの来日も含め、加藤重雄ワイズ（仙台青葉城）へ全て引き継ぎました。

IT アドバイザー 山下 真



IT アドバイザー

山下真（十勝）

- ◎ メーリングリストの管理
・設置と管理を行った。
- ◎ 東日本区ウェブサイトの管理
・各クラブのブリテンのアップロード

を行った。

- ・国際、各種委員会の要請でそれぞれの資料のアップロードを行った。

- ◎ IT 関係面の支援、助言
・特筆すべきものはなかった。

広報・伝達 (PR) 専任委員 佐竹 誠



広報・伝達 (PR) 専任委員
佐竹誠 (東京ベイサイド)

広報・伝達 (PR) 専任委員報告

2019 年 12 月から続く新型コロナウイルスにより対面での活動に制限がかかりました。

非対面でも PR が出来るように今期は以前からの課題でもあった「情報発信の弱さ」と向き合い PR ツールの作成をしてきました。内容は下記の通りです。

2121 年 7 月～ スマートフォン専用 PR サイトの運用を開始。(ランディングページ作成、PR 動画作成、PR カード作成)

2022 年 5 月現在まで PR サイトへの新規訪問者数は 1,176 人です。PR 動画は 378 回再生です。問い合わせ件数 (熱海クラブ) 1 件。

皆さんの努力のお陰もあり PR サイトへの訪問者数は少しずつ増えています。

東日本ではネームバリューが低い事が課題ですが、まずはファーストステップである「知ってもらう」という部分を強化すべく引き続き皆さんが PR しやすい環境作りをしていく必要性を感じています。

今後の予定としては、現 WEB サイトを外向きの内容に変更して再構築していきます。

各クラブの SNS と東日本区公式サイトが連動してバラバラだった情報を一括で見られるようにして、クラブ間及び外部とのハブとなるサイトを目指します。



東日本区公式サイト再構築開始



スマートフォン専用 PR サイト

理事スタッフ・東日本区事務所

副書記 座間 裕二



副書記
座間裕二（宇都宮）

2021-22 年度を振り返って

2021-22 年度に初めて副書記という大役に就かせて頂きました。私自身、ワイズメンズクラブに入会してまだ4年程度なので、歴史やメンバーの方々などほぼほぼわからず不安のスタートでした。副書

記ということで、書記の衣笠さんのサポートする役でしたが、役をこなせたか疑問はありますが、いい経験をさせていただきました。

2021-22 年度からロースターを、冊子発行ではなくデータによる作成で、資料作成やデータの構成など、微力ながらサポートすることでワイズメンズクラブの歴史や活動内容、組織体系も少しではありますがわかることができました。北海道から山梨まで、他県でもこんなに多くの仲間がいるんだなとうれしく思ったことを覚えています。また準備をする中で、各クラブの方にデータの確認や修正を依頼させて頂き、快く対応頂き、ありがとうございました。

また、この1年の活動の中でも特に思い出に残っているのは東日本区大会でした。昨年の甲府大会のハイブリッド開催に参加させて頂き、東日本区大会の規模感や大会意義、熱意をその場で体感できたことは大きな経験でした。その経験を踏まえ、東日本区大会の宇都宮開催もリアルで開催できればと準備をしていきましたが、やはりコロナの脅威には勝てず、やむをえずの完全オンライン開催になりました。当初、思い描いていたリアルでの東日本区大会とは違う形になってしまいましたが、完全オンライン開催という難しい環境の中、200名近い参加を頂き、とてもいい東日本区大会ができた事は非常に嬉しい出来事でした。東日本区大会開催には多くの方の協力を頂いたのは、ワイズメンズクラブの結束力かと思います。

副書記の業務とは少し違うかもしれませんが、このように東日本区と関わりを持てたことはいい経験で今後のワイズメンズクラブの活動にも役立っていけると思います。

1年間、東日本区の活動に参加させて頂き、ありがとうございました。

副会計 長尾 昌男



理事スタッフ（副会計）を終えて
副会計 長尾 昌男（千葉ウエスト）

副会計は、会計のサポートが務めですが、四谷の東日本区事務所に出向いたのは、中間決算と本決算の会計監査の事前確認作業のためだけでした。2回の会計監査そのものは、Zoom 出席とさせて頂

きました。

それ以外は、理事キャビネットの一員としての毎月の区常任役員会・4回の区役員会・2回の区代議員会の全てにZoom によるオブザーバー参加をしました。お陰様で、東日本区全体の大切な動きや、大切な働きが、理解出来ました。ありがとうございました。

2023-24年度は、千葉ウエスト創立3年目に入りますが、自身2度目の関東東部の部長（前回の2017-18年度は千葉クラブから）として、区役員会や区代議員会に出席することに成りますので、よろしくお願い致します。

東日本区事務所所長 小林 隆



東日本区事務所所長
小林 隆（沼津）

東日本区事務所報告

東日本区事務所は、来客や委員会等がほとんど無い状態が2年間続いています。コロナ禍の中で、一昨年は事務所の一時閉鎖もありましたが、2021-22年度はwith コロナによる通常事務所運営を続けてまいりました。従来の事務所

運営からwith コロナによるZoom会議やリモートワークにより事務所の仕事も変革しつつあります。コロナポジティブ効果です。

各クラブやワイズ会員を支援するために事務所があります。各クラブの皆さまには、辛い所に手が届くようなことができませんでした。ご容赦願います。2022-23 佐藤年度の事務所は、一般社団法人の活動推進対応と事務や経費の省力化・効率化を進めたいと考えています。ご意見や依頼事項があれば、遠慮なく連絡願います。ワイズ会員のための東日本区事務所です。これからも宜しくお願いいたします。

東日本区担当主事

東日本区担当主事 大澤 篤人



大澤担当主事

「YMCA 報告」

2021-22 年度大久保理事期におきましては、長引くコロナ禍という困難の中にあって、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の全ての皆様に YMCA をお支えいただきました。YMCA に連なる皆さんひ

とり一人にかわり、感謝とお礼を申し上げます。

現在も新型コロナ感染の第七波の到来という、未曾有の事態の中にあって、回復の兆しが見えてきていたこの社会はまたしても後退を余儀なくされています。さらにはウクライナ危機を受けた世界的な情勢不安や混乱は、この日本社会に深刻な影響を及ぼしています。

このような社会ではありますが、テクノロジーの進歩と成長は、コロナ禍さえも追い風にして、更なる情報化社会への展開を見せています。加えて 2015 年に国連で採択された SDGs の考え方は日本社会に少しずつ浸透してきており、サステナビリティの重要性は今や誰もが理解するところとなりました。

YMCA は 2021 年度から「日本 YMCA 中期計画 (ビジョン) 2021-2023」において、①Positive well-being ②Youth Empowerment ③Technology for social inclusion & diversity ④Partnership ⑤Change Agent の 5 項目を掲げて社会の課題に向き合ってきました。ワイズメンズクラブとのパートナーシップにおいては、初の全国規模での共同事業である「Y's×SDGs Youth Action」を実施し、社会課題解決に取り組むユースに伴走して豊かな社会の実現のために各地で活動が展開されています。誰もが予想だになかったウクライナ危機にも、「世界の人びとと共に平和の実現に努める」とした日本 YMCA 基本原則にある通り、いち早く緊急支援を開始し、ワイズメンズクラブの皆様からも多くのご支援とご賛同を賜りました。

ワイズメンズクラブとの強力なパートナーシップのもと、「ポジティブネットのある豊かな社会」を目指し、未来を作る人々と伴走していきます。

2021-2022 年度 行政監査報告書

2021-2022 年度行政監査報告書

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2021-2022 年度理事 大久保知宏様

2022 年 7 月 15 日

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2021-2022 年度 監事 田中博之
同 漆畑義彦

東日本区定款第 19 条「監事の任務」の第 2 項および第 3 項の規定に基づき、2021 年 7 月 1 日から 2022 年 6 月 30 日までの 2021-2022 年度のワイズメンズクラブ国際協会東日本区理事の職務の執行状況、東日本区の内部統制システムの機能状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

<補足>

東日本区定款第 6 条「代議員会」の第 9 項(1)の定めにより、2022 年 6 月 4 日(土)に実施された年次代議員において、2022 年 5 月 31 日時点での行政監査の結果を中間報告として提示いたしました。

今般、2022 年 6 月 1 日から 6 月 30 日までの期間についての行政監査を行った上で、上記中間報告の記述を一部変更、追加し、2022 年 8 月に実施される予定の臨時代議員会に提示いたします。

記

【監査方法】

監事は、日頃、理事および関係者との意思疎通を図り、また、監査期間中に開催された全ての東日本区役員会、同常任役員会、東日本区主催の研修会に出席し、精度の高い監査を行うための情報収集、モニタリングを実施いたしました。

【監査結果】

2021 年 7 月 1 日から 2022 年 6 月 30 日までの期間、東日本区理事は、ワイズメンズクラブ国際協会の憲法・ガイドライン、同アジア太平洋地域の憲法・ガイドライン、同東日本区の定款・定款施行細則、その他の規則に従い、また、法や社会規範に反することなく職務を遂行し、東日本区の運営が適切に行われていたことを認めます。また、理事の年次報告書は、活動状況を正しく示していることを認めます。

【付帯意見】

以下に、2021-2022 年度(以下、「今年度」)を振り返って、理事の職務遂行状況のみならず、東日本区全体や各事業に

関わる事項について、また、次年度(2022-2023 年度)への提言も含め、付帯意見を記します。

〈総括〉

今年度も新型コロナウイルスの影響によって、対面の会合を持っていないなど、東日本区の活動は、大幅に制限されました。しかし、このような状況下においても、理事を始めとする区のリーダーの皆さんの熱意、創意、リーダーシップによって区の組織運営、各事業活動が適正かつ可能な限り活発に行われたこと、特に、Y's × SDGs Youth Action 2022、ワイズ・ナイトフォーラム、東日本区ウェブサイトのリニューアル等の新しい取り組みも始められたことを大いに評価いたします。

一方で、各クラブの活動については、多くのクラブでコロナ前からの CS・Y サ活動が休止中であり、中にはクラブ例会も開催できていないクラブもあるなど厳しい状況が続きました。今後も、引き続き部、区のより強力なアドバイス、支援が望まれます。

今年度の理事の取り組み計画の内、多くが実行に移され、成果も挙がりましたが、グローバルクラブ / ユースクラブの設立、日本版 iGo の実施、東日本区新ウェブサイトの運用開始、新しい会計システムの導入等、未遂に終わったもの、会員増強、献金額等、数値目標を達成できなかったものもありました。また、各部長、各事業主任等の活動においても当初の計画どおりに進まなかったことも見受けられました。

PDCA の重要性、特に C (Check)、A (Action) の大切さについては、十分認識されていると思いますし、毎年の様に行政監査報告書でも触れられていますが、進捗状況に応じて、期中で、目標達成に向けての施策の見直し、場合によっては目標の修正を行うことも必要と思います。例えば Change! 2022 の会員数目標については、これまで様々な施策を打ち出したにもかかわらず、コロナ禍の影響もあって、当初の「2022 年末に会員数 1,246 名」の目標達成は、現実的なものではなくなっています。どこかで、目標の見直しについてのオープンな論議があるべきだったかと思えます。

今年度果たせなかったこと、取り組みが不十分であったことについて、各東日本区役員の皆さんは、東日本区役員会報告書や年次報告書にも記載することが望まれ、また、是非、その原因分析や反省を含め、次年度に引き継いでいただくことを願います。

前例について

東日本区の運営は、前年度の例に従って行われることが通例でした。しかし、何らかの理由で前年度の運営方法が間違っていたり、抜けがあったりすると、それを継承してしまうことになります。今年度もそのようなことが起こりそうがありました。過去の経験を参考にすることは大切なことですが、前年度だけでなく、過去数年の例も参考にすることが必要です。そのためには、過去の年次報告書、代議員会議事録、区役員会ワークブック / 議事録、常任役員会議事録および各委員会の議事録等に、必要な者が容易

にアクセスできる仕組みを作ることが望めます。また、まずは、各種規定、マニュアル、手引き類に必ず当たれることを心がけていただきたいと思います。

さらに、変化する時代にあつては、果たして前例どおりのやり方で良いのかを検証すること、また、各種規定、マニュアル、手引き類についても、このままで良いのかという問題意識を持ち、次年度の方々のために必要な追加、更新を行っていただきたいと思います。

国際協会、アジア太平洋地域との関わりについて

ワイズメンズクラブは、自分たちが存在している都市、地域でのボランティア活動を行うことだけを目的としているグループではありません。部、区、地域、国際協会の一員として、それらの活動に主体的に関わることは、国際協会から認証状（チャーター）を得たワイズメンズクラブとしての大きな存在理由です。もちろん、地元に着目した地域奉仕も大切な活動ですが、それだけにとどまらず、日本中でそして世界中で、困難の中にある人々のことを思い、その地のワイズメンズクラブや YMCA と連帯して自分たちにできることを行い、より良い世界を築くために尽力することがワイズメンズクラブの大切な使命です。

この観点から、今年度、東日本区は、インドのコロナ禍への緊急支援募金、ミャンマー YMCA への支援募金、ウクライナ難民募金を大久保理事のリーダーシップによって積極的に展開され、誇るべき成果が得られたことは称賛に値します。

一方で、最近の例を挙げると、Week for Waste(W4 W)の世界一斉行動日(4月2日)への参加が11クラブに留まったり、4月25日の国際マラリアデーに関して、区としてのアピール、各クラブのアクションが見られなかったり、国際協会から指示のあった、5月1日から8日の国際協会100周年祝賀週間中に各クラブでイベントを開催することについては、私の知る限りでは実施したクラブが無かったなど、コロナ禍の影響があるとは言え、国際レベルでの活動に十分に協調・参画できなかったことがあったことは残念でした。また、国際協会事業への献金（ASF、BF、PWALP、RBM、TOF）、アジア太平洋地域事業への献金（YES）が大幅に目標額を下回ったことおよび国際選挙への投票率が国際協会、アジア太平洋地域の平均を下回ったことも次年度には改善されるべき課題です。

2022年5月に国際協会は、今後10年間の中長期計画である「戦略2032」(Strategy 2032)を発表しました。今後、私たちの進むべき方向・目標、その実現方法について記されています。良く読んでいただいた上で、東日本区、各部、各クラブの活動計画にぜひ反映していただきたいと思います。

東日本区は、ワイズ活動の全ての面で、国際協会、アジア太平洋地域での模範となることが期待されています。次年度の東日本区役員の皆さんの一層のお働きを願っています。

広報について

今年度、新規も含め、東日本区では多くの取り組みが行

われましたが、それらの事前案内および実施報告、すなわち広報については、改善の余地があったと思います。東日本区では区内外への広報の重要性に鑑み、2013-2014年度から広報・伝達（PR）専任委員の役職を設けて、常任役員会への出席も求め、各役員、東日本区事務所と連携して東日本区ウェブサイトを通じた広報活動を行うこととしていますが、今年度は、その役割が良く機能していたとは言えませんでした。また、各部長、各事業主任等についても部長通信、事業主任通信の発行や都度の広報活動の面で、十分な取り組みができていなかった方々も見受けられました。現在、東日本区ウェブサイトのリニューアル作業が進行中ですが、ぜひ新しいウェブサイトを活用して、区内へのタイムリーな情報の提供による参画意識、一体感の向上、区外への広報活動の充実による社会的認知度のアップおよびそれによる会員増強にも繋げていただきたいと思います。また、今年度における、Y's × SDGs Youth Action 2022のような区内に留まらない取り組みや区外にアピールすべきことがらについては、マスコミ等へのニュースリリースを積極的に行っていくこともご検討ください。

ポストコロナに向けて

新型コロナウイルスの今後については予断を許しませんが、終息に向かっていくことが期待されています。これまで避けざるを得なかった対面での会合、活動も今後、徐々に復活していくことでしょう。一昨年度（2019-2020年度）から、各種会合をリモート会議システム（主として Zoom）で開催してきましたが、今年度は、運用も一層定着化し、効率的に会合を持つことができたと思います。残念ながら、年次代議員会、東日本区大会も昨年度同様、リアルで集まることは叶いませんでしたが、非常にスムーズなリモート会議の運営によって、それぞれの会の目的を達成できたことを評価いたします。

ポストコロナ、ニューノーマルの時代に於いては、一定の感染対策を継続していくことが必要であるとともに、コロナ禍の中で利用を始めたリモート会議システムについては、その利点を生かして、効率良く、また、参加者の時間、コストがかからない会合の方式として、これを積極的に継続して活用いただきたいと思います。一方で、組織としての一体感の醸成や微妙なニュアンスを伝えることができるなどの対面による会合の利点も活かし、例えば、東日本区役員会については、第1回、第4回は対面で、第2回、第3回は、リモートで行うことや、4回の役員会の合間に、リモートでの会合を追加する等の検討を次年度の役員の皆さんにお願いしたいと思います。

2年半におよんだコロナとの闘い、制約下の日々から、これから本格化することが期待されているワイズ活動復興の日々に向けて、ギアチェンジを図って参りましょう。

以上

2021-2022 年度
一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
期末決算資料

2022 年 6 月 30 日
東日本区事務所

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区決算書 2021-2022年度

2022年6月30日

収入の部

科 目	修正予算額	決算額	備 考
東日本区費	13,819,000	11,404,000	前期59クラブ(800名5,723,900円)後期58クラブ(794名5,680,100円)
ハンドブック&ロースター	0	315,400	東700円×342冊=239,400円 西1,900円×40冊=76,000円
入会金	600,000	222,000	6,000円×37名
物品売上	150,000	4,000	ワイズ読本1,000円×4冊(御殿場クラブ)
国際加盟金	36,000	0	CHF100.00×3クラブ(今年度なし)
YMIワールド補助金	102,000	105,722	838×CHF1.00×¥126.16
受取利息	0	163	みずほ銀行
ユース活動支援金(献金)	0	371,750	ユース活動支援38先(今年度新設)
雑収入	0	0	
前期前受金受入	0	1,000,000	ユースアクション2022事業費(前受金・YVLF負担金より振替)
YVLF参加者負担金	150,000		
ユース活動参加費	40,000	0	
収入小計	14,897,000	13,423,035	
前期繰越金	3,287,688	5,911,791	
合 計	18,184,688	19,334,826	

支出の部

科 目	修正予算額	決算額	備 考
国際会費	3,675,000	3,424,390	前期1,676,917円(¥120.08) 後期1,747,473円(¥126.16)
アジア太平洋地域会費	603,750	552,439	前期258,257円(778人×\$3×¥110.65)後期294,182円(775人×USD3×126.53円)
アジア太平洋地域自然災害緊急支援基金	195,500	172,171	778人×USD2.00×110.65円
国際加盟金	36,000	0	CHF100.00×¥ (今年度なし)
東日本区大会支援金	425,000	188,136	(800名×500円)宇都宮ウエブ区大会費用
東日本区事務所(業務委託費)	1,200,000	1,200,000	7月～6月 100,000円×12カ月
東日本区事務所(家賃)	1,224,000	1,224,000	7月～6月 102,000円×12カ月
会議費	50,000	0	
旅費・交通費	900,000	504,800	事務所長40,000円×12カ月 他
区・事業費	1,000,000	381,475	法人登記費用183,150円、表彰状費36,875円、退任バッジ161,450円
部・事業費	955,000	940,000	7部×100,000円+800名×300円
事務通信費	400,000	448,237	プロバイダー代・電話代・送料・切手、切手貯蔵品19,185円戻入
宣伝印刷費	320,000	402,010	2020-21区報2号116,560円・YMIワールド1号2号3号4号254,100円他
コピー機カウンターチャージ	200,000	230,245	コピー機リース料16,092×12カ月、コピー機使用料2,805×10カ月+9,091
ハンドブック&ロースター	0	303,760	西日本区65冊117,200円 東日本区430冊186,560円
消耗品・事務用品費	100,000	33,203	プリンターインク代、伝票、他
EMC物品費	730,000	59,400	新入会員入会キット3,300円×18セット
慶弔費	50,000	38,902	生花(2先 浅見ワイズ、佐藤メネット)・弔電(8先)
銀行手数料	30,000	76,099	振込等(みずほ銀行国際送金料8,500円×7回、他)
雑費	50,000	0	
予備費	100,000	0	
ユース活動費	150,000	144,456	第33回YVLFプログラム費(横浜YMCA)
Y V L F	1,400,000	894,000	Y's×SDGs Action2022助成金694,000円+準備金200,000円に充当
租税公課	70,000	52,500	法人都民税(年70,000円÷12×9カ月)
広報費	360,000	19,800	会員増強ムービー更新費
東日本区ウェブサイト更新費	2,500,000	2,500,000	東日本区ウェブサイト更新費 121万円支払済(129万円未払金へ)
役員活動補助金 理事/次期理事/直前理事	80,000	80,000	理事4万円、次期理事2万円、直前理事2万円
書記/会計	40,000	40,000	書記2万円、会計2万円
事業主任4名	80,000	80,000	2万円×4名
部長7名	140,000	140,000	2万円×7名
委員長/専任委員	70,000	70,000	1万円×7名
監事	20,000	20,000	1万円×2名
理事スタッフ	20,000	20,000	副書記1万円、副会計1万円 計 450,000
支出小計	17,174,250	14,240,023	
次期繰越金	1,010,438	5,094,803	
合 計	18,184,688	19,334,826	

国際会費：前期 1,676,917円…796×CHF17.50×¥120.08+4(若年新入会員)×CHF8.75×¥120.08

後期 1,747,473円…789×CHF17.50×¥126.16+5(若年新入会員)×CHF8.75×¥126.16

アジア太平洋地域会費：前期258,257円(778人×USD3.00×¥110.65)(若年会員18人)

後期294,182円(775人×USD3.00×¥126.53)(若年会員21人)

貸借対照表

2022年6月30日

資産の部		負債の部	
現預金	23,186,820	未払金	1,290,000
		前受金	200,000
		預かり金	30,300
		災害募金	41,602
		大震災支援募金	193,023
仮払金	100,000	次期繰越金	21,531,895
計	23,286,820	計	23,286,820

特別資金会計

J E F

収入の部		支出の部	
当期入金	410,000	当期支出	102,000
前期繰越金	13,100,476	次期繰越金	13,408,476
計	13,510,476	計	13,510,476

PWALP

収入の部		支出の部	
当期入金	327,400	当期支出（国際送金）	327,400
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	327,400	計	327,400

T0F

収入の部		支出の部	
当期入金	793,000	当期支出（国際送金）	793,000
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	793,000	計	793,000

CS/ASF

収入の部		支出の部	
当期入金（CS）	826,305	当期支出（YMCA-CS資金）	1,000,000
（ASF）	273,400	（国際送金）	82,020
前期繰越金	799,964	次期繰越金	817,649
計	1,899,669	計	1,899,669

F F

収入の部		支出の部	
当期入金	270,250	当期支出	100,000
前期繰越金	1,187,533	次期繰越金	1,357,783
計	1,457,783	計	1,457,783

B F

収入の部		支出の部	
当期入金	993,346	当期支出（国際送金）	993,346
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	993,346	計	993,346

E F

収入の部		支出の部	
当期入金	98,500	当期支出（国際送金）	98,500
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	98,500	計	98,500

RBM

収入の部		支出の部	
当期入金	481,400	当期支出（国際送金）	481,400
前期繰越金	169	次期繰越金	169
計	481,569	計	481,569

YES

収入の部		支出の部	
当期入金	255,050	当期支出(やまなみ設立支援金) (国際送金)	100,000 263,562
前期繰越金	263,154	次期繰越金	154,642
計	518,204	計	518,204

ワイズメネット

収入の部		支出の部	
当期入金	344,900	当期支出 (絵本購入) (国際送金)	363,271 74,900
前期繰越金	791,644	次期繰越金	698,373
計	1,136,544	計	1,136,544

【各種献金残高合計】(JEFを除く)

PWALP	0
TOF	0
CS/ASF	817,649
FF	1,357,783
BF	0
EF	0
RBM	169
YES	154,642
ワイズメネット	698,373
計	3,028,616

東日本大震災支援募金

収入の部		支出の部	
当期入金	10,001	当期支出	0
前期繰越金	183,022	次期繰越金	193,023
計	193,023	計	193,023

災害募金

収入の部		支出の部	
当期入金	1,495,658	当期支出	1,769,658
前期繰越金	315,602	次期繰越金	41,602
計	1,811,260	計	1,811,260

<災害募金の内訳> ☒ インドコナ284,000円国際へ ☒ ミャンマー263,658円APSへ ☒ 熊本地震41,602円預り
☒ ウクライナ1,202,000円献金(898千円+JEF102千円=100万円) ☒ 304千円+檜村657,650円) =961,650円

①災害募金内訳(熊本地震支援募金)

収入の部		支出の部	
当期入金	10,000	当期支出	0
前期繰越金	31,602	次期繰越金	41,602
計	41,602	計	41,602

②災害募金内訳(ウクライナ募金)

収入の部		支出の部	
当期入金	1,202,000	当期支出	1,202,000
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	1,202,000	計	1,202,000

③災害募金内訳(ミャンマー募金)

収入の部		支出の部	
当期入金	263,658	当期支出	263,658
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	263,658	計	263,658

アジア太平洋地域へ263,658円送金

繰越金計 41,602

<預り金> 檜村メモリアル収支

収入の部		支出の部	
当期入金	1,000,000	当期支出 IHQへコロナ献金 YMCA同盟へウクライナ献金	342,350 657,650
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	1,000,000	計	1,000,000

その他預り金明細

30,300

当期入金	長野(1万円メット、次期区費へ) 東京江東(次期区費へ充当) 東京ベイト(メット次期区費へ)	12,200 300 17,800
計		30,300

財 産 目 録

2022年6月30日

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元在高	124,629	
普通預金	郵便振替	9,353,524	
	みずほ銀行	340,032	
	ゆうちょ銀行(J E F)	3,368,476	
	みずほ銀行 (US\$)	159	
定期預金	みずほ定期 (J E F)	10,000,000	
現預金合計			23,186,820
貯蔵品		0	
短期貸付金		0	
未収入金		0	
仮払金			
	(株)斎藤工芸	100,000	
流動資産合計			100,000
2. 固定資産			
固定資産合計		0	0
資産合計			23,286,820
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		1,290,000	
前受金		200,000	
東日本区各クラブ YVLF			
預り金			30,300
	・ 檜村メモリアル	0	
	・ 長野 過送金 次期区費へ充当	12,200	
	・ 東京江東 過送金 次期区費へ充当	300	
	・ " " メネット絵本へ	10,000	
	東京ベイサイド過送金 次期区費へ充当	7,800	
東日本区ワイズ基金		13,408,476	
東日本大震災支援募金		193,023	
各種献金 PWALP. TOF, CS/AFS. FF			
	BF. EF. RBM. YES. ワイズメネット	3,028,616	
災害募金 熊本大地震支援41,602円		41,602	
流動負債合計			18,192,017
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			18,192,017
正味財産			5,094,803

21-22年度Change!2022決算(21/7-22/6)

会員増強事業主任
推進委員会委員長
同 会計

大川貴久
栗本治郎
石田孝次

収入の部

2022/6/30現在

	21-22年度		20-21年度	備 考
	予 算	実 績	実 績	
前期繰越金	2,031,476	2,031,476	2,331,990	
受取利息	12	4	10	
キャッシュレス還元	0	0		
その他の収入	0	2,100		プリントパックよりのポイント
合 計	2,031,488	2,033,580	2,332,000	

支出の部

	21-22年度		20-21年度	備 考
	予 算	実 績	実 績	
通信費(切手代)	80,000	59,642	95,012	ニュース送付料
ニュース印刷費	60,000	49,080	54,340	100部(クラブ会長へ送付)
シンポジウム印刷費	0	0	44,170	
FB活用促進費	70,000	0	0	
同マニュアル作成費	0	0	0	
同OJT指導費	0	0	0	
FB広告費	0	0	0	
新クラブ設立助成金	200,000	100,000	100,000	甲府クラブ5万円、甲府やまなみクラブ5万円計10万円
※ 外部委託費	1,000,000	798,930	0	スマホ専用サイト制作費
旅費交通費	0	0	0	
事務費	5,000	0	0	
振込手数料	7,000	4,086	7,002	
予備費その他	30,000	0	0	
シンポジウム会場費	10,000	0	0	
合 計	1,462,000	1,011,738	300,524	
次期繰越金	569,488	1,021,842	2,031,476	(PayPay銀行6月30日現在の口座残高)

※ 委託先: バトンプロダクツ株式会社(ワイズ専用の紹介WEBサイトの制作)

ワイズメンズクラブ国際協会

2021-2022 年度

東日本区理事 大久保 知宏様

東日本区決算会計監査報告書

私たちは、東日本区定款第 19 条の規定に基づき、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の 2021-2022 年度期末決算（2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日）の会計監査を行いましたので、次の通り報告いたします。

監査日時：2022 年 7 月 15 日 13 時 30 分

監査場所：東日本区事務所（四谷） リモート

監査立会人：東日本区理事 大久保 知宏
：東日本区会計 鈴木 伊知郎
：東日本区副会計 長尾 昌男
：東日本区事務所所長 小林 隆

1. 監査方法

提示された収支計算書、貸借対照表、財産目録、特別会計の諸表および金融機関の残高証明書、通帳、証憑書類等を監査。

2. 監査結果

監査方法に基づき、2022 年 6 月 30 日現在の会計監査を実施した結果、期末における財産の状況、会計処理は適正であることを確認いたしましたので、ここに報告させていただきます。

ワイズメンズクラブ国際協会

2021-2022 年度

東日本区財政監事 漆畑 義彦

東日本区行政監事 田中 博之

ワイズメンズクラブ国際協会
2021-2022 年度
東日本区理事 大久保知宏理事

Change ! 2022 推進委員会決算会計監査報告書

私たちは、Change ! 2022 推進委員会規則施行細則 第 2 条第 3 項の規定に基づき、
「Change ! 2022 推進委員会」の会計監査を行いましたので、次の通り報告いたします。

監査日時：2022 年 7 月 15 日 13:30～

監査場所：Zoom 会議

説明者：

2021-2022 年度 Change ! 2022 推進委員会委員長 栗本治郎

1. 監査方法

提示された、2021 年 7 月-2022 年 6 月 Change ! 2022 推進委員会会計報告、金融機関
の残高照会および取引明細照会、2021 年 7 月-2022 年 6 月 Change ! 2022 推進委員会
会計月次管理表（月次実績表）を照合

2. 監査結果

監査方法および提示された上記証書類に基づき、2022 年 6 月末現在の会計監査を実施
した結果、財産の状況、会計処理は適正であることを確認いたしましたので、
ここに報告させていただきます。

ワイズメンズクラブ国際協会

2021-2022 年度

東日本区財政監事 漆畑 義彦

東日本区行政監事 田中 博之

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
2022-2023 年度《前期》現勢

2022.7.1現在

7/25 報告分

部 名 クラブ名	2020	2021	2021	2022	2022.7.1			直近
	7.1	1.1	7.1	1.1	入会	退会	差引	増減
北海道部								
札幌	8	8	8	9	0	0	9	0
北見	11	11	11	11	0	1	10	-1
十勝	18	18	18	18	0	0	18	0
札幌北	9	9	8	8	0	0	8	0
4	46	46	45	46	0	1	45	-1

北東部								
仙台	13	13	14	14	0	2	12	-2
前橋	7	7	7	7	0	1	6	-1
宇都宮	31	31	32	32	1	2	31	-1
仙台青葉城	14	14	13	13	0	0	13	0
*足利	1	3	3	3	0	0	3	0
*会津 (2022年1月解散)	5	5	5	—	—	—	—	—
宇都宮東	8	7	7	7	0	0	7	0
那須	6	6	6	7	0	0	7	0
もりおか	14	13	14	14	0	0	14	0
仙台広瀬川	15	15	14	14	2	1	15	1
石巻広域	18	22	20	22	0	1	21	-1
10	132	136	135	133	3	7	129	-4

関東東部								
東京江東	22	22	21	21	1	1	21	0
千葉	14	11	11	11	2	2	11	0
東京グリーン	16	16	16	15	0	0	15	0
埼玉	8	8	8	7	0	1	6	-1
東京北	12	12	11	11	1	1	11	0
所沢	11	11	11	11	4	0	15	4
東京ひがし	15	15	13	12	0	0	12	0
川越	10	10	10	10	0	1	9	-1
茨城	9	9	9	9	1	3	7	-2
東京ベイサイド	15	15	14	14	0	1	13	-1
千葉ウェスト		8	8	9	0	0	9	0
11	132	137	132	130	9	10	129	-1

東新部								
東京	27	27	23	24	1	0	25	1
東京むかで	11	12	12	11	0	2	9	-2
東京世田谷	12	13	14	14	0	0	14	0
東京町田コスモス	8	8	8	9	0	0	9	0
東京センテニアル	8	8	8	8	0	1	7	-1
東京多摩みなみ	12	12	10	10	1	0	11	1
東京町田スマイリング	10	9	9	5	0	0	5	0
7	88	89	84	81	2	3	80	-1

部 名 クラブ名	2020	2021	2021	2022	2022.7.1			直近
	7.1	1.1	7.1	1.1	入会	退会	差引	増減
あずさ部								
甲府	33	33	30	30	1	1	30	0
東京西	12	12	12	12	0	0	12	0
東京武蔵野多摩	11	11	10	10	0	1	9	-1
*松本	10	10	10	11	0	0	11	0
東京サンライズ	19	19	18	18	0	1	17	-1
甲府21	38	43	48	51	2	0	53	2
東京八王子	13	13	13	12	1	1	12	0
東京たんぽぽ	9	9	9	8	0	1	7	-1
*富士五湖	11	11	11	11	0	0	11	0
*長野	10	10	10	8	1	1	8	0
10	166	171	171	171	5	6	170	-1

湘南・沖縄部								
横浜	12	11	12	12	0	0	12	0
*沖縄那覇 (2021年6月解散)	1	3	—	—	—	—	—	—
鎌倉	8	9	9	11	0	0	11	0
横浜つつか	12	12	12	11	0	0	11	0
厚木	15	13	12	11	0	1	10	-1
金沢八景	12	11	11	11	0	0	11	0
横浜つつき	17	17	16	16	1	1	16	0
*沖縄 (2021年6月解散)	15	12	—	—	—	—	—	—
横浜つるみ	9	9	10	11	1	0	12	1
7	101	97	82	83	2	2	83	0

富士山部								
*熱海	45	45	43	43	1	3	41	-2
*沼津	15	15	15	15	0	0	15	0
*伊東	18	18	18	17	0	6	11	-6
*三島	11	10	8	8	0	0	8	0
*下田	7	7	6	6	0	0	6	0
*熱海グローリー	13	13	15	15	0	2	13	-2
御殿場	21	21	14	14	0	2	12	-2
富士	15	14	13	14	0	2	12	-2
富士宮	20	19	19	18	0	2	16	-2
9	165	162	151	150	1	17	134	-16

東日本区合計	2020 7.1	2021 1.1	2021 7.1	2022 1.1	2022.7.1			直近 増減
					入会	退会	差引	
総クラブ数	60	61	59	58	クラブ数			58
総会員数	830	838	800	794	22	46	770	-24

* 印のクラブは、担当主事がないか、または在籍していても

複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含めません。

2022－2023年度 代議員名簿

	役職	クラブ名	氏名	備考
北海道部 6	部長	札幌北	小 谷 和 雄	
	部選出代議員	十勝	中 村 義 春	
	会長	札幌	伏 木 康	
	会長	北見	竹 口 裕 司	
	会長	十勝	久 保 田 和 寿	
	会長	札幌北	小 谷 和 雄	重複
北東部 12	部長	宇都宮	大 久 保 知 宏	
	部選出代議員	仙台青葉城	南 澤 一 右	
	会長	仙台	永 井 孝 憲	
	会長	前橋	岸 龍 也	
	会長	宇都宮	中 込 ひ ろ み	
	会長	仙台青葉城	涌 澤 博	
	会長	足利	諏 訪 治 男	
	会長	宇都宮東	鈴 木 伊 知 郎	
	会長	那須	河 野 順 子	
	会長	もりおか	三 田 庸 平	
関東東部 13	部長	東京ベイサイド	工 藤 大 丈	
	部選出代議員	東京ベイサイド	工 藤 大 丈	重複
	会長	東京江東	大 原 真 之 介	
	会長	千葉	古 屋 朝 則	
	会長	東京グリーン	樋 口 順 英	
	会長	埼玉	浅 羽 俊 一 郎	
	会長	東京北	村 杉 一 榮	
	会長	所沢	東 裕 二	
	会長	東京ひがし	千 代 一 郎	
	会長	川越	山 本 剛 史 郎	
東新部 9	会長	茨城	熊 谷 光 彦	
	会長	東京ベイサイド	藤 原 宏 隆	
	会長	千葉WEST	高 田 一 彦	
	部長	東京多摩みなみ	深 尾 香 子	
	部選出代議員	東京町田コスモス	松 香 光 夫	
	会長	東京	進 藤 重 光	
	会長	東京むかで	今 井 武 彦	
	会長	東京世田谷	小 川 圭 一	
	会長	東京町田コスモス	谷 治 英 俊	
	会長	東京センテニアル	徐 鍾 煥	
	会長	東京多摩みなみ	伊 藤 幾 夫	
	会長	東京町田スマイリング	為 我 井 輝 忠	

代議員定数72人 重複2人 差引70人 定足数 47

	役職	クラブ名	氏名	備考
あずさ部 12	部長	富士五湖	後 藤 明 久	
	部選出代議員	東京八王子	長 谷 川 あ や 子	
	会長	甲府	田 中 克 男	
	会長	東京西	高 嶋 美 知 子	
	会長	東京武蔵野多摩	中 村 吉 孝	
	会長	松本	大 和 田 浩 二	
	会長	東京サンライズ	菰 渕 光 彦	
	会長	甲府21	廣 瀬 健	
	会長	東京八王子	花 輪 宗 命	
	会長	東京たんぽぽ	服 部 節 子	
湘南・沖縄部 9	会長	富士五湖	望 月 勉	
	会長	長野	森 本 俊 子	
	部長	厚木	小 松 仲 史	
	部選出代議員	横浜とつか	若 木 一 美	
	会長	横浜	古 賀 健 一 郎	
	会長	鎌倉	池 田 光 司	
	会長	横浜とつか	吉 原 訓	
	会長	厚木	佐 藤 節 子	
	会長	金沢八景	山 田 一 男	
	会長	横浜つづき	今 城 高 之	
富士山部 11	会長	横浜つるみ	久 保 勝 昭	
	部長	御殿場	前 原 末 子	
	部選出代議員	熱海	小 原 進 一	
	会長	熱海	小 林 秀 樹	
	会長	沼津	大 村 貴 之	
	会長	伊東	稲 葉 富 士 憲	
	会長	三島	相 川 毅	
	会長	下田	長 田 俊 児	
	会長	熱海グローリー	菅 谷 正	
	会長	御殿場	杉 山 將 己	
	会長	富士	菊 池 初 彦	
	会長	富士宮	樋 口 亨	

2021-2022 年度年次代議員会議事録

日時 2022 年 6 月 4 日

場所 Zoom によるオンライン会議

2021-2022 年度年次代議員会議事録

日時：2022 年 6 月 4 日（土）9:30-11:30

場所：Zoom によるオンライン会議

【開会式】

	司会	東日本区書記衣笠輝夫
開会点鐘		東日本区理事大久保知宏
ワイズソング・ワイズの信条		一同
開会祈禱		東日本区書記衣笠輝夫
開会挨拶		東日本区理事大久保知宏

【定足数の確認】

定足数 48 名（代議員定数 72 名、内重複 1 人よって 71 名の 3 分の 2）

出席代議員数 40 名、委任状 15 名 計 55 名

委任先（中村北海道部部長：1 名、南澤北東部部長：5 名、大澤関東東部部長：4 名、松香東新部部長：1 名、若木湘南・沖縄部部長：2 名、小原富士山部部長：1 名、加藤東新部選出代議員：〕名計 15 名委任先代議員 7 名は、全員出席）
◇代議員会定足数 48 名を上回る 55 名の出席によって、代議員会の成立要件を満たすことが確認された。

【年次代議員会の成立宣言】 東日本区理事 大久保知宏

【議長について】

代議員会の議長は、定款第 6 条第 11 項に基づき、直前部長の互選によって選出された古田和彦湘南・沖縄部直前部長が務める。

【議事録録署名人の選出】

議事録署名人として、中村北海道部部長および大澤関東東部部部長の推薦があり、承認された。

【議案審議】

第 1 号議案 2021-2022 年度東日本区年次報告および行政監査中間報告承認の件
提案者 東日本区理事 大久保知宏
資料：ワークブックおよび 6 月 1 日に配信された「2021

-2022 年度東日本区年次報告書」、「行政監査中間報告書」大久保理事から説明があった後、挙手による採決賛成多数により承認

第 2 号議案 2021-2022 年度東日本区中間決算報告および会計監査報告承認の件提案者 f 東日本区理事大久保知宏資料；ワークブック

採決：承認

大久保理事から説明があった後、挙手による採決賛成多数により承認

第 3 号議案 次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事承認の件

提案者 指名委員会委員長 板村哲也

資料：ワークブック

東日本区定款第 10 条に基づき、候補者を指名

次期理事（2022-23 年度理事）佐藤直良（甲府 21）

大久保理事から説明があった後、挙手による採決賛成多数により承認

【報告事項】東日本区書記 衣笠輝夫

6 月 3 日（金）に開催された第 4 回東日本区役員会開催後の現部長の話し合いで、次期（2022-2023 年度）の代議員会議長に長谷川あや子あずさ部部長が選出された。

【開会挨拶】東日本区次期理事 佐藤重良

議事録署名人
中村北海道部部長

中村 義春

議事録署名人

大澤 和子

2021-2022 年度第 1 回東日本区役員会議事録

日時 2021 年 7 月 10 日

場所 Zoom によるオンライン会議

2021-2022 年度
第 1 回東日本区役員会議事録

日 時：2021 年 7 月 10 日（土）19:00～22:00

方法：Zoom によるオンライン会議出席者：30 名（オブザーバーを含む）

議決権者 16 名中委任状 2 通含め 15 名。

委任状 2 通：（議長一任 鈴木伊知郎会計、三田庸平ユース事業主任）

【議決権者保有役員会メンバー】（15 名）

大久保理事、佐藤次期理事、板村直前理事、衣笠書記、鈴木会計（委任状）、深尾地域奉仕 Y サ事業主任、大川会員増強事業主任、山田国際・交流事業主任、三田ユース事業主任（委任状）、中村北海道部部長、南澤北東部部長、大澤関東東部部長、松香東新部部長、長谷川あずさ部部長、若木湘南・沖縄部部長、

【役員会構成メンバー】（11 名）

漆畑財政監事、田中行政監事、駒田文献・組織検討委員長、山下 LT 委員長、原 JEF 運営委員会委員長、澁谷ワイズメネット委員長、栗本 Change! 2022 推進委員会委員長、仙洞田ヒストリアン、長尾副会計、光永担当主事、小林東日本区事務所所長、

【オブザーバー】（4 名）

大野国際議員、小山憲彦事務所参与、小山直前書記、利根川直前会計、

【欠席者】

辻直前行政監事、小原富士山部部長、佐竹広報・伝達（PR）専任委員、石井東日本区ユース代表、座間副書記

【記録】衣笠輝夫東日本区書記

開会挨拶：大久保東日本区理事

出席者確認：出席は 30 名。議決権保有役員の出席者数は 16 名中 15 名（議長一任委任状 2 通含）。

定足数：11 名（議決権保有役員 16 名の 2/3 以上の出席）

東日本区定款第 8 条第 4 項。

議長（大久保理事）：役員会成立要件（定足数 11 名）を満たし成立。

議事録署名人選出：板村直前理事と佐藤次期理事を指名。

画面共有資料 2

資料：ワークブック R7 及びアジア太平洋地域ユースコンボケーション

大野国際議員・エリア会長報告（ワークブック R7 参照）
〈2021-22 国際会長〉

Kim Sangchae (Korea) キム・サンチェ

主題 “Y's Men with eht World” 「世界とともにワイズメン」

スローガン “Heal the World with Love & Dignity”

〈2021-22 アジア太平洋地域会長〉

主 題 “Make a difference beyond the 100th”

「100 年を超えて変革しよう」

スローガン “Be healthy! 「健康第一！」

7 月 11 日（日）：エリア自己紹介ミーティング「Get to know each other」〈ZOOM〉

7 月 31 日（土）：エリア事業主任研修 (ASDs Training 〈ZOOM〉)

8 月 7 日（土）・8 日（日）：エリア・ユース・コンボケーション (AYC) 〈ZOOM〉

8 月 14 日（土）：エリア大会 (AC) 台湾・台南 〈ZOOM〉

8 月 21 日（日）：エリア議会 (ACM) 〈ZOOM〉

今後の活動予定等

・AP ブリテンを毎月発行予定したい。

・エリア憲法改定に関するクラブ会長の投票について。

・ミャンマー支援募金について。

・来年のハワイ国際大会は延期から中止になった。

議案審議：議長大久保理事

出席役員：16 名中 15 名、採決方法：挙手を確認。出席議決権保有者の過半数で承認する。

第 1 号議案「2020-2021 年度東日本区第 4 回役員会議事録承認の件」

提案者：板村直前理事

資料：東日本区第 4 回役員会議事録案 参照（ワークブック R 7）

採決結果：承認。

議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12・名賛成、（過半数 8 名）

第 2 号議案「2020-2021 年度東日本区年次代議員会議事録承認の件」

提案者：板村直前理事
資料：東日本区年次代議員会議事録案
参照（ワークブック R 7）
田中行政監事：第 3 号議案採決結果に保留 7 を加筆すべき。
板村直前理事：「賛成 31、反対 12 に保留 7」を加筆修正する。
田中行政監事：今後も保留の数と「賛成 31 中の 4 は委任状」を明記すべき。
板村直前理事：修正する。
採決結果：承認。
議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）修正を加え承認。

第 3 号議案「2020-2021 年度東日本区会計決算報告承認の件」
提案者：板村直前理事説明：利根川直前会計
資料：東日本区期末決算（案）・東日本区会計監査報告書：（監事：漆畑義彦・辻剛）
参照（ワークブック R 7）
・収入部トピックス：前期区費は徴収せず後期のみ。YVLF はここ 2 年間実施されていないので今期は徴収していない。
・支出部トピックス：35 歳以下ユースメンバー国際会費・アジア太平洋地域会費の割引実施（計算式参照）等欄外備考を参照。
・会計監査報告：漆畑監事より
田中行政監事：議決権数は議長外してカウントする。従って 14 名。採決結果：承認。
議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）

第 4 号議案「2020-2021 年度東日本区年次報告承認の件」
提案者：板村直前理事
資料：東日本区年次報告・東日本区行政監査報告書（監事：漆畑義彦・辻剛）
参照（ワークブック R 7）
トピックス：昨年度年次代議員会以降の法人化手続きに関して、6 月中に新宿公証役場で定款認証してもらい、7 月 1 日法務局新宿出張所に法人登記申請を行う。
7 月 1 日付で登記。
行政監査報告：漆畑監事（辻監事代）より
採決結果：承認。
議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）

第 5 号議案「Change! 2022 推進委員会 2020-2021 年度会計決算報告承認の件」
提案者：板村直前理事
説明者：栗本 Change! 2022 推進委員会委員長
資料：2020-2021 年度会計決算報告・決算会計監

査報告書（監事：漆畑義彦・辻剛）
参照（ワークブック R 7）
会計監査報告辻畑監事より
採決結果：承認。
議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）

第 6 号議案「Change! 2022 推進委員会 2021-2022 年度会計予算案承認の件」
提案者：大川会員増強事業主任
説明：栗本 Change! 2022 推進委員会委員長
資料：2021-2022 年度 Change! 2022 予算（21/7-22/6）
採決結果：承認
参照（ワークブック R 7）
議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）

第 7 号議案「沖縄那覇クラブ解散の件」
提案者：若木湘南・沖縄部部長
議長補足：突然の議案上程だったが、湘南・沖縄部として沖縄那覇クラブ解散に関して長い間検討し努力したが結論としてこのような結果になった。田中行政監事：残念だが、ワイズメンズクラブであり続けたいと思う方には、国際協会でも推奨しているグローバルクラブの活用をお薦めする。
若木湘南・沖縄部部長：沖縄那覇クラブに伝える。田中行政監事：議決に関する確認で委任状は誰で、どなたに委任されているか。
衣笠書記：鈴木会計と三田ユース事業主任の 2 名で、いずれも議長一任になっている。
田中行政監事：議長一任なので賛成者数から除いてもらいたい。
衣笠書記：承知。（議長は賛成数に入らないので、議長一任者も賛成数に入らない）
採決結果：承認。
議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）

第 8 号議案「一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区経理規程等制定の件」
提案者：板村直前理事
説明：利根川文献・組織検討委員会小委員会委員長
資料：文献・組織検討委員会よりの答申
一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区経理規
上記別表（決裁権限表）
金銭出納管理規則
ワイズメンズクラブ国際協会東日本区現定款と一般社団法人定款（案）組織対比図（組織、役職等の読み替えのための対比図）

参照（ワークブック R 7）

南澤北東部部長：印鑑は会計担当理事が金庫外で保管し、金庫内に通帳を入れ金庫鍵は事務所長が保管するのか。

利根川委員長：その通りで、金庫管理は事務所長、印鑑は会計担当理事で別々に管理する

田中行政監事：経理規定に関して、現在、固定資産は何があるか。

利根川委員長：ないと思う。

田中行政監事：規定では「取得価格 30 万円以上」となっており、10 年前に取得したパナガイド（当時取得価格 70 万円程）も入れなければならなくなる。表記を「残存簿価」にすれば該当しなくなる。（減価償却が終わっているため）。

利根川委員長：今後文献・組織検討委員会の中で運用しながら検討していく事項と思う。

駒田文献・組織検討委員長：承認された時点で、固定資産等について確認していくことになっている。

大久保理事：「取得価格」で計上するのが一般的と思うので、この規定に準じて規定承認後に事務所長及び会計担当理事で調査を行い、固定資産台帳、減価償却台帳を作っていく。

田中行政監事：「パナガイド」とは会議の時使う通訳機セットのこと。

漆畑監事：法人化がスタートした時、会計の切替えはいつから行うのか。

板村直前理事：システムや具体的な会処置や手続きに関しては、一挙の切替えは困難で、一年ほどかけて切替え又は修正していく。その間は併行して運用する。

大久保理事：7 月 1 日に一般社団法人が設立、それに伴う会計システム導入時期がいつになっても、遡及的に 7 月 1 日から月次決算を行ったかたちで整える。

採決結果：承認。

議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）

第 9 号議案「東日本区主催の会合での礼拝献金贈呈先の件」

提案者：大久保理事

提案内容：東日本区主催の会合での礼拝献金を、東日本区災害等支援基金を新設し、その基金に対して贈呈したい。東日本区災害等支援基金とは、毎年のように発生する自然災害や今般の COVID-19 のパンデミックなどの状況が発生した際の支援金などに充てるための基金である。この基金の運営方法については別途定め、次回の役員会に付議したい。

採決結果：承認。

議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）

第 10 号議案「副会計任命の件」

提案者：大久保理事

提案内容：会計の業務を補助するため、長尾昌男氏（千葉ウエスト）を副会計に任命したい。

採決結果：承認。

議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）

長尾副会計より挨拶。

第 11 号議案「ユース事業主任変更の件」

提案者：大久保理事

提案内容：三田庸平氏（もりおか）より家庭の事情によりユース事業主任を辞任したい旨の申し出があり、その申し出を受け、後任として相磯優子氏（沼津）を任命したい。本議案をご承認いただいた場合、沼津クラブにおいて同人事をご調整いただいており、その了承をいただいた場合に決定としたい。決定した時点で、臨時代議員会議案として付議したい。

採決結果：承認。

議決権保有役員 15 名中、議長及び議長一任委任者 2 名除き 12 名賛成、（過半数 8 名）

報告事項

(1) 第 24 回東日本区大会収支報告の件

報告と説明：板村直前理事より

第 24 回東日本区大会予算・実績表参照（ワークブック R 7）

区事業費（表彰関係除く）実績 1,510,331 円の内訳説明。

仙洞田ヒストリアン：大会案内について、第 1 弾で郵送した内容は何か。受取っていないが。保存の関係上確認したい。当日会場でチラシ・プログラム等受け取っているが、それ以外の資料があったら保存するため。

板村直前理事：2 月頃に開催方法をハイブリッドに切り替えたため、郵送物は通常の案内資料等は送っていない。

(2) アジア・太平洋地域の憲法改正の件

報告と説明：田中元アジア・太平洋地域会長より
クラブ会長説明会：2021 年 7 月 17 日 19:00～（Zoom）

<https://www.ys-east.or.jp/2021/07/10/> / アジア太平洋地域憲法ークラブ会長説明会 /（ワークブック R7 参照）説明：田中元アジア・太平洋地域会長よりパワーポイントで説明。

8 月 15 日：地域内の全グッドスタンディングクラブ会長による改定についての承認投票の期限

上記で 2/3 以上の賛成であれば、国際本部に改定案を送付し、国際協会の審査を経て、国際議会で承認後、改定発行される。

長谷川あずさ部部长：部内クラブ会長に部より案内を出したが、その時点では直前会長にメールが届くが、投票は現会長が行うことになるので、その確認メールをどうするのか。

大久保理事：区から現会長 ML で案内するが、併せて各部長から説明会参加と投票について念押し願う。

(3) ヤングメンバーの国際・地域会費減額の件

報告と説明：大久保理事より

(ワークブック R7 参照)

国際協会及びアジア太平洋地域によるヤングメンバーに対する会費等減免について、

国際会費 1000 円減免、アジア太平洋地域会費 300 円減免については、前年度後期分については今年度前期の区費において、今年度前期分については今年度後期の区費において対象クラブに対して減免処理を行った金額を減じて請求する。

小林区事務所長：国際会費減免対象者：35 歳以下で新入会員のみで 4 人。アジア太平洋地域会費減免対象者：24 歳～35 歳で 25 人。

大久保理事：この内容を部長から各クラブ会長に伝えていただきたい。田中行政監事：配偶者が新たに会員になった場合も、同様適用される。

利根川直前会計：国際会費減免対象者は 18 歳～35 歳迄

アジア太平洋地域会費減免対象者は 35 歳以下に変わっている。

(4) 代議員会議長の件

2020-21 年度部長による互選を依頼し、湘南・沖縄部の古田和彦直前部長に決定。

(5) 第 25 回東日本区大会

報告と説明：山田公平第 25 回東日本区大会実行委員長より

(ワークブック R7 参照)

日時：2022 年 6 月 4 日 5 日の両日

場所：宇都宮市内「ホテル東日本宇都宮」

大会テーマ：「絆を深める時」として、基調講演を行わない。

分科会をメインに、各クラブの物品販売などの場でのクラブメンバー同士が絆を確認する時間を多く持ったものにしたい。部長報告ではクラブ会長にもご登壇いただき、クラブ紹介などをする時間を作ることを検討中。

(6) J E F 預金口座の件

報告と説明：大久保理事より実施時期については別途。

(ワークブック R7 参照)

東日本区ワイズ基金は東日本区において

多額の残高が残る基金となっており、その管理には細心の注意が必要。JEF のみ残高証明の入手は困難となっている。基金の出入金、残高を明確にするため、経常会計預金と別の預金口座を作り、出入金管理することとする。

実施時期については、一社の名義で口座開設になり、又 JEF への寄付口座も変わるので別途定めたい。

原 JEF 運営委員会委員長：JEF 基金についてここまで明記されたのでよかった。高田委員長から引き継いで行っていきたい。

(7) 一般社団法人の運営に関わる特別委員会設置の件

報告と説明：大久保理事より

(ワークブック R7 参照)

一般社団法人の設立登記申請が行われた後、任意団体、一般社団法人の両面を持った団体として活動を行うことになるが、一般社団法人としての運営のための施策を立案実施するためのチームが必要となると考えている。そこで東日本区定款第 11 条第 8 項に定めるところの理事が必要と認める委員会として「法人委員会」（仮称）を新設する。当委員会の委員会規則については別途定め、今後の役員会等で審議いただきたい。

(8) ミャンマーへの募金の件

報告と説明：山田国際・交流事業主任より

東日本区が各クラブ及び個人から募った募金に CS-Y サ・ASF 資金の一部を加えてアジア太平洋地域事務所（香港）に送ることにしたい。（ワークブック R7 参照）

田中行政監事：ミャンマーの各 YMCA リードにて 4 つのワイズメンズクラブが新しく誕生した。この寄付は YMCA に送られるが、実質的にはワイズメンズクラブ活動支援になる。

(9) 熱海伊豆山地区土砂災害緊急募金の件

報告と説明：大久保理事・光永担当主事より

東日本区として募金開始時期等 調整していく。（ワークブック R7 参照）

光永担当主事より「静岡・大雨災害について（7 月 7 日時点の情報）」報告。

(10) アジア太平洋地域ユース・コンボケーションの件

報告と説明：大久保理事

今年度のアジア太平洋地域ユース・コンボケーション日程

2021 年 8 月 7 日 14:00~18:00（日本時間）

8 月 8 日 14:00~18:00（日本時間）対象：35 歳以下のユース 通訳あり

募集締切日：7 月 20 日 募集は参加者氏名、メールアドレスのみで OK

(11) 区事務所時間変更の件

小林区事務所長より報告

13:00~18:00 → 10:30~17:00 に変更す

る。曜日は月・水・金で変わらず。
利根川直前会計：緊急事態宣言下でも事務所は開いているのか。

大久保理事：電話が繋がれば閉鎖表現ではなく、リモートで事務所が開いている業務体制にすることで緊急事態宣言に対応したい。

小林区事務所長：FAX、メールは PC で見られる。事務所への電話に関して携帯を通常にしてもらえば、事務所にいなくても対応できる。

(12) LT 委員会報告

報告と説明：山下 LT 委員会委員長（ワークブック R7 参照）

【委員会体制】委員長 山下真（十勝）

山本剛史郎（川越）、千葉裕子（鎌倉）、浅羽俊一郎（埼玉）小原史奈子（東京たんぼぼ）、利根川太郎（川越）、石田孝次（東京多摩みなみ）長岡正彦（もりおか）、長谷川等（沼津）

活動指針等は委員長が替わっていないので、大きな変更なし。活動目標は今年度新たに各種手引き・マニュアル改訂を行う。（文献翁組織検討委員会と連携を密に取る）

活動計画

2021 年 8 月 28 日（土）13:30

カフェドフレッシュワイズ (Zoom)

対象：ワイズ歴 5 年のフレッシュワイズ

2021 年 10 月 30 日（土）

次期部長研修会 (Zoom)

2022 年 3 月 5 日（土）～6 日（日）

次期クラブ会長・部役員研修会（東山荘）

4. 区活動報告

プログラム記載順を変更し、委員会・専任委員等活動報告から報告いただき、常任役員・事業主任・部長の報告はワークブックを参照いただき、記載内容以外の特段報告のみとさせていただきます。

(1) 委員会・専任委員等活動報告（ワークブック R7 参照）

①文献・組織検討委員会（駒田委員長）

文献・組織委員会は、規則第 2 条にあるように大きく分けて各規則等の文献に関することと、東日本区の組織に関する事項について協議し、検討を行う機関。東日本区の組織、会がスムーズに運営、発展できるように規則、きるようにしていく。

②東日本区ワイズ基金運営委員会（原委員長）

今年度、高田一彦ワイズより運営委員長を引き継ぐ事になった。JEF 運営委員会の目的は、東日本区ワイズ基金の適切な管理・運用そして保全です。新しい年度になってワイズ基金としての口座を設け、明確に区分することができた。そして安定的

な運用を図り、不測の事態に対応するためには何よりも先ず募金活動を積極的に進め資金的余裕を図る必要がある。

③東日本区ワイズメネット委員会（澁谷委員長）

今年度の部大会でメネットが集まり会合を持ちたい。その中でプチマルシェ等計画したい。その他はワークブック R7 通り。

④Change! 2022 推進委員会（栗本委員長）

動画でわかるワイズメンズクラブカードの紹介他。2022 年をゴールとする会員増強運動の『Change! 2022』がスタートして 3 年目になる。期間は 2022 年 12 月迄。コロナのため、例会を開くことが出来ないクラブがある一方、Zoom 例会、ハイブリット例会を開いているクラブと多様な例会のスタイルを手に入れた。

新年度には、現在制作中のスマホ専用のワイズ紹介カード (QR コードで写真・動画) を積極的に活用頂き、今までに提案してきましたアクションプラン I II (Change! 2022 ニュース 10 号、15 号掲載)、Change! 2022 ニュース (毎月)、アニバーサリー・プレゼントプラン等を参考に、更に会員増強の意識を高めていきたい。

常にこの名刺大のワイズメンズクラブカードを持参いただき、これを見せてワイズへお誘いしてほしい。

⑤ヒストリアン（仙洞田ヒストリアン）

・今年度ハンドブック&ロースターはデジタル版とのことだが、記録のために印刷版を 2～3 部お願いしたい。区報も同様印刷版を 2～3 部お願いしたい。その他はワークブック R7 通り。

⑥IT アドバイザー（山下真さん）

主にメールリングリストの運営管理と WEB 管理。IT 関係の悩み相談は継続する。その他はワークブック R7 通り。

⑦YMCA 関連（光永担当）

更なるパートナーシップ推進の 1 年を目指して特に、協働型事業、提案型事業、支援型事業という従来の関係性をさらに充実させるため、パートナーシップ型事業の推進が、YMCA とワイズ双方で検討されています。具体的な働きにつながっているものもあれば、構想の段階のものもあります。特に、YMCA を支援していただくワイズの皆様から、YMCA の働きを推進するためのパートナーシップ推進の働きについての提案をいただく機会が増えていることは、私たちの YMCA に勇気と力を与えていただいています。

⑧東日本区事務所（小林事務所長）

これから区費請求がはじめるのでお願いいたします。その他はワークブック R7 通り。

(2) 事業主任、部長より (ワークブック R7 参照)

①大川会員増強事業主任より

会員増強事業委員会を 7 月 29 日に開催する。各部長から会員増強主査に参加要請してほしい。

②大澤関東東部部長より

10 月 2 日の関東東部部大会での記念講演の講師は豊島区を蘇らせた萩原なつ子さんに決定したので、ぜひ参加ください。

5. 監事講評

漆畑財政監事：従来リアルの役員会は 1 日かけて行っていたが、コミュニケーションは取れたが、長時間の労苦もあった。今回短時間でわかりやすく、明確になった。財政面ではこれからより細かく、より正確にみていきたい。

田中行政監事：東日本区役員会に参加するのは 2016 年 6 月以降、メンバーとしての参加は 5 年ぶり。再び東日本区のためにお役に立ちたいと思う。行政監事の務めは、区役員会、常任役員会、代議員会等の会議・運営が法令や社会規範に則り、又国際憲法、アジア太平洋地域憲法、東日本区定款他の規定を守って活動しているかを確認することと助言をすることにある。

又「東日本区理事キャビネット活動手順」を参照いただきたい。ワークブックは早めに配信願いたい。本日の区役員会記録は 1 週間後に部評議会が予定されているため、それに間に合うように少なくとも議案部分だけでも早く出していただきたい。

経常会計で昨年度の繰越金が 600 万とあるが、この額でいかどうか繰越金の在り方を検討願いたい。議事録承認について、その会議に出席している者が承認すべきで、6 月開催の代議員会議事録に関しても、6 月末までに持ち回りによっても承認すべき。(7 月以降の次年度代議員は出席していない会議なので議事録案は承認できないはず)

閉会挨拶佐藤次期理事

議事録署名人
板村直前理事

板村哲也

議事録署名人
佐藤次期理事

佐藤 圭 良

2021-2022 年度第 2 回東日本区役員会議事録

日時 2021 年 11 月 6 日 (土)

場所 Zoom によるオンライン会議

2021-2022 年度

第 2 回東日本区役員会議事録

日時：2021 年 11 月 6 日 (土) 19:00～21:20

方法：Zoom によるオンライン会議

出席者：28 名 (オブザーバーを含む)

議決権保有役員 16 名中 委任状 1 通含め 16 名 (2 名遅れて出席)。

委任状 1 通：(書記一任鈴木伊知郎会計)

【議決権者保有役員会メンバー】(16 名)

大久保理事、佐藤次期理事、板村直前理事、衣笠書記、鈴木会計 (委任状)、深尾地域奉仕・Yサ事業主任、大川会員増強事業主任、山田国際・交流事業主任、相磯ユース事業主任、中村北海道部部长、南澤北東部部長、大澤関東東部部長、松香東新部部長、長谷川あずさ部部長、若木湘南・沖縄部部長、小原富士山部部長

【役員会構成メンバー】(10 名)

漆畑財政監事、田中行政監事、駒田文献・組織検討委員長、山下 LT 委員長、原 JEF 運営委員会委員長、栗本 Change! 2022 推進委員会委員長、仙洞田ヒストリアン、長尾副会計、光永担当主事、小林東日本区事務所所長、

【オブザーバー】(2 名)

大野国際議員、清藤次期書記

【欠席者】

澁谷ワイズメネット委員会委員長、佐竹広報・伝達 (PR) 専任委員、長澤トラベルコーディネーター、石井東日本区ユース代表、座間副書記

【記録】衣笠東日本区書記

開会挨拶：大久保東日本区理事

出席者確認：出席は 26 名。議決権保有役員の出席者数は 16 名中 14 名 (書記一任委任状 1 通含め) (2 名遅れて出席)

定足数：11 名 (議決権保有役員 16 名の 2/3 以上の出席) 東日本区定款第 8 条第 4 項議長伏久保理事)：役員会成立要件 (定足数 11 名) を満たし成立。

議事録署名人選出：板村直前理事と佐藤次期理事を指名。

画面共有資料：21-22 期第 2 回役員会ワークブック

ワークブックの 3 箇所訂正

P2：出席者名簿東日本区大震災支援対策本部長→東日本大震災支援対策本部長

P3：プログラム 各部活動報告関東東部部長の後に東新部部長を挿入

P6：第 1 回役員会議事録案第 4 号議案トピックス 7 月 7 日付で登記 → 7 月 1 日で登記

議案審議：議長大久保理事

第 1 号議案「2021-2022 年度東日本区第 1 回役員会議事録承認の件」提案者：大久保理事

資料：東日本区第 1 回役員会議事録案採決結果：承認も

議決権保有役員 14 名中、議長除き 13 名賛成 (過半数 8 名)

第 2 号議案「2022-2023 年度東日本区役員指名の件」提案者：佐藤次期理事

資料：2022-2023 年度東日本区役員指名の件

2022-2023 年度東日本区役員会および役員会出席メンバー表

東日本区役員会出席者で澁谷ワイズメネット委員長は任期満了につき別途人選する。

採決結果：修正を加え承認も

議決権保有役員 14 名中、議長除き 13 名賛成

第 3 号議案「2021-2022 年度東日本区大会の登録費含む概要の件」提案者：大久保理事

資料：2021-2022 年度東日本区大会の登録費含む概要登録費用

登録費用 (晩さん会) シニア (メン、メネット) コメント含むユース (ヤングメンバーは別) 16,000 円、8,000 円 各自負担

ホテル東日本宿泊一泊 8000 円 (宿泊先による)、朝食各自負担

日程および会場

日時：2022 年 6 月 3 日 (金) - 5 日 (日)

会場：ホテル東日本宇都宮

ここで議決権保有役員 1 名出席採決結果：承認

議決権保有役員 15 名中、議長除き 14 名賛成

第 4 号議案「Y's X SDGs Youth Action 2022 事業承認・事業資金拠出の件」

提案者：大久保理事

補足説明：山田 Youth Action 事務局長

資料：Y's x SDGs Youth Action 2022 概要

Y's x SDGs Youth Action 2022 応募要項

採決結果：承認

議決権保有役員 15 名中、議長除き 14 名賛成

報告事項

"Be Healthy Program" '実施にむけて 説明大久保理事 国際協会で 2020-2021 年度に開始した統一国際プロジェクト「Heal The World」の一環としてアジア太平洋地域の範囲で「Be Healthy Program」を実施する。

ウォーキングを通じて健康増進と収益金により国際的プロジェクトに参加する。

・競技方法：競技期間中の累積歩数を競う。

・表彰：年代別に上位者を表彰

・参加費：2,000 円

・競技期間：準備の都合上少し遅れ 11 月下旬～ 12 月を目指したい。

大久保理事：既に常任役員会で承認され実施を進めているが、プログラムに少し不具合があり案内が完了していない。この役員会後に速やかに実施したい。

田中行政監事：統一国際プロジェクト「Heal The World」の一環としてアジア太平洋地域の範囲で「Be Healthy

Program」を実施するという事は、東日本区が主催してアジア太平洋地域の各国に呼びかけるということか。
大久保理事：そうしたい。よって英語の準備も行う。
田中行政監事：まずは東日本区の範囲でやってみてはどうか。収益については、「Heal The World」という献金はない。国際協会の TOF への献金になる。

今後のウェブサイト構築組織と発注について

説明 大久保理事

透明性確保のため公募をしたが応募は無かった。先に提案があった Baton 提案(242 万円)に従い発注をかけたい。ウェブサイト構築組織は佐竹広報専任委員と山下 IT アドバイザーを中心として進めていただく。

山田国際・交流事業主任：これを継続していく維持・管理費用はどの程度か。

大久保理事：見積額は 3 万円／月になっている。

田中行政監事：アジア太平洋地域でもウェブサイト全面改訂を検討している。東日本区でも数人の見識者から、より多くの英知・経験・アイデアを求めて良いものを構築していただきたい。242 万円だと「決済権限表」のどこに位置付けられるか。

大久保理事：「予算幸財子時に 1 件 50 万円以上で、常任理事会」になっている。

田中行政監事：今回の東日本区役員会での承認は必要ないということになる。なお「50 万円以上」はとても大きくなりなので今後の検討課題にしていきたい。

東日本区活動報告 ワークブック参照ください

(1) 2021-2022 年度東日本区理事活動報告

「東日本区の現況」 大久保理事

(2) アジア太平洋地域会長活動報告 (7-10 月)

大野アジア太平洋地域会長

1) 活動項目：一覧表

2) アジア太平洋地域憲法&ガイドライン改定に関する投票が 7 月 15 日～8 月 15 日に行われた。クラブ会長による投票が行われ承認された。また国際議会においても承認され、新しい憲法が施行される。

7 月 17 日(土)：東日本区での説明会実施

3) 来年のワイズ 100 周年の記念会は、ハワイでの国際大会が中止になったので、11 月 15 日～17 日の間に台湾の台北で行われることになった。日本から多くのワイズメンに参加いただきたい。100 周年記念プロジェクトとして、ソングフェストとクックブック作成が進行中。ソングフェストは浅羽俊一郎委員長のもと台湾での披露を目指している。クックブックは大久保理事、利根川さん、深尾さんのアイデアのもと進行中。ぜひご協力いただきたい。

4) 国際投票がそろそろ始まるのでクラブ会長には投票していただくようお願いしたい。

(3) 次期理事方針 佐藤次期理事

(4) 地域奉仕・Y サ事業 深尾事業主任

栗本 Change! 2022 推進委員会委員長：「熱海伊豆山土砂災害」について、直接熱海市に届けた義援金が 120 万円ある。義援金募集はいつまで行うのか。

深尾事業主任：12 月末まで行う。

大澤関東東部部長：相談案件の中に有志によるアフガニスタンへの人道支援への取り組み(石巻広域、東京むかで)とあるが、もう少し詳しく教えてほしい。

深尾事業主任：東京むかでクラブ例会で卓話者の桜井さんから協力依頼があった。ランドセルを送る内容のもので、興味をもった方が複数人いるので、相談があった。まだ具体的には動いてはいない。

大澤関東東部部長：東京江東クラブでアフガニスタンへランドセルを送ろうとしているプロジェクトとは違うのか。

深尾事業主任：支援団体は同じかもしれないが、東京江東クラブの名前はきていない。

(5) 会員増強事業 大川事業主任

特に EMC 拡大事業委員会は毎月行っており、7/29 (29 名)、8/30 (30 名)、9/29 (20 名)、10/28 は参加者 20 名だった。会員異動状況の表(2021 年 10 月 19 日現在)で一部誤りあり、東新部で入会者 2 名→4 名、従って 10 月 19 日現在で 815 名→817 名、増減 15 名→17 名となる。

(6) 国際・交流事業 山田事業主任

(7) ユース事業 相磯事業主任

4. 各部活動報告 ワークブック参照ください。

①北海道部 中村部長

②北東部 南澤部長

③関東東部 大澤部長

新入会水沼昭子さん(千葉ウェストクラブ) 関東東部第 1 号の入会者。11 月 20 日 14:00～16:00 に第 2 回評議会に代わり、リモート懇親会を企画した。クイズや歌を織り交ぜ、神田川船の会のビデオ、余島シニアキャンプ動画、カンボジアへ園服寄付の取り組み動画を見たりして、ワイズメンズクラブを知らない方、お誘いしたい方向けの楽しい会にしたいと思っている。今まではクラブ三役が出てきた評議会だったが、それを誰でも参加できるリモート懇親会にしたい。

④東新部 松香部長

⑤あずさ部 長谷川部長

⑥湘南・沖縄部 若木部長

⑦富士山部 小原部長

5. 委員会・専任委員等活動報告 ワークブック参照ください

(1) 文献・組織検討委員会委員長 駒田委員長

委員会は組織が継続していくためには、活性化とイノベーションが必要であると考えている。今期は大久保理事からの諮問事項と前年度からの検討事項(継続)があり、6 項について担当を決め検討している。

(2) L T 委員会委員長 山下委員長

(3) J E F 運営委員会委員長 原委員長

期首残高および 7 月 1 日から 10 月 20 日までの献金は下記の通りです。

期首残高：13,100,476 円

◇献金一覧

7/6 柿沼敬喜（東京グリーン）30,000
 関東東部部長の勤めを終え
 8/28 板村哲也（東京武蔵野多摩）10,000
 東日本区の発展を願って
 8/28 小林隆（沼津）10,000
 一年間の事務所長を終えて
 9/11 利根川恵子（JII 越）50,000

アジア太平洋地域書記、3 年間の勤めを終えて

以上、4 件で合計 100,000 の献金がありました。

*結果、10 月 20 日時点に於ける JEF 基金残高は：13,200,476 円となります。

(4)Change! 2022 推進委員会委員長 栗本委員長

2022 年をゴールとする会員増強運動の『Change! 2022』が 3 年目に入りました。目標数は、1997 年東日本区発足時の 1,246 名ですが、例会だけでなく多くの事業が中止になっている状況下、会員増強を図ることができていません。しかし、Zoom 等のオンラインで例会を開き活発に交流を図っているクラブも多くあります。コロナ後の例会や活動のあり方が変わっていくことと思われます。委員会は毎月開催している。そして EMC のヒントとなる記事を掲載した『Change! 2022 ニュース』を毎月 15 日に発行しています。10 月号で 28 号になった。今期、委員会では昨年から取り組んでいました、ワイズ紹介サイトの『動画で分かるワイズメンズクラブ』カードを、7 月早々に全クラブに 100 枚ずつ配布いたしました。各クラブの積極的な活用が期待されますが活用状況が非常に悪いです。アクセスがまったくないクラブが半数以上あります。もう一つの大きな取り組みは、ワイズの魅力を紹介する『ワイズ・ナイトフォーラム』の開催です。9 月、10 月、11 月に各一回、日曜日の夜 8 時から開催します。毎回違う卓話者によるタイムリーな講演とワイズの奉仕活動をテーマとしたパネル・ディスカッションを行います。ぜひ会員以外の方をお誘いして参加していただきたい。

(5) 一般社団法人現状報告と経緯 板村委員長

(6) ヒストリアン 仙洞田専任委員

基本的には以下のワークブック記載の通りだが、毎月の強調月間で 12 月が「記録」になっていた。これまでにない強調用語だった。各クラブの記録をしつかり取ることだと思ふ。

(7)YMCA 報告 光永担当主事

(8) 東日本区事務所活動報告 小林東日本区事務所長

監事講評

田中行政監事：

この 4 ヶ月間の諸活動が各種ルール、社会規範にのっとり、公平公正に行われてきたこと、そして多くの新しい取り組みが久保理事のリーダーシップによって計画され実行さ

れていることに深く敬意を表す。様々な新しい取り組みを理事、担当主任だけではなくオブザーバー含め東日本区役員会メンバーなど東日本区の運営に関わるリーダーとして、各業務の枠を超えて計画や実施に参画していただきたい。多くの計画があるが、全てを単年度で完成させるのではなく、内容によっては中長期的な視野や計画で取り組んで良い成果を上げられることに期待する。具体的な項目に対するアドバイスとしては、

(1) ハンドブック&メンバーシップロースター

今年度からデジタル化されたが多くの漏れやミスプリントがあり発行も遅れた。今年度の経験や反省を生かして来年度はどのように改善するかを常任役員会等で話し合っていたいただきたい。

(2) 東日本区ウェブサイト

枠組みがどうあろうと中味が重要。有用な情報がタイムリーに掲載されることが内外に対しても重要であるが、現状は、必ずしも情報がタイムリーに掲載されていない印象がある。中味の充実とタイムリー性の向上を願いたい。その働きは、広報・伝達 (PR) 専任委員の務めであるが、現状では上手く機能しているとは言い難い。本来、広報・伝達 (PR) 専任委員は書記か副書記が兼任すべきである。専任委員が成し得ない部分は、書記や副書記がカバーして、より良い内外への広報活動をしていただきたい。

(3) チェンジ！ 2022 活動

チェンジ！ 2022 活動は 2022 年までに会員数を 1246 名にするという目標がある。これをどう考えるかだが、国際協会では 5 万名の目標を掲げていたが、この目標を 2 年間延長することを決定し、具体的施策も案内されている。ぜひ現実と掲げる目標を調和させた目標として、その目標達成へのロードマップや手段を委員会の総力をあげて提示いただきたい。

(4) 役員会の時間

2 時間では東日本区の役員会が果たすべき機能は十分には達成できないと思う。次回は、余裕を持ったスケジュールでお願いしたい。

5. 閉会挨拶 佐藤次期理事

議事録署名人
板村直前理事

板村哲也

議事録署名人
佐藤次期理事

佐藤重良

2021-2022 年度第 3 回東日本区役員会議事録

日時 2022 年 4 月 9 日 (土)

場所 Zoom によるオンライン会議

2021-2022 年度

第 3 回東日本区役員会議事録

日時：2022 年 4 月 9 日 (土) 13:00～17:10

方法：Zoom によるオンライン会議

出席者：37 名 (オブザーバーを含む)

議決権保有役員 16 名中 委任状 2 通含め 16 名 (1 名遅れて出席)

委任状 2 通：(区書記に委任 南澤北東部部長、若木湘南・沖縄部部長)

【議決権者保有役員会メンバー】(16 名)

大久保理事、佐藤次期理事、板村直前理事、衣笠書記、鈴木会計、深尾地域奉仕・Y サ事業主任、大川会員増強事業主任、山田国際・交流事業主任、相磯ユース事業主任、中村北海道部部長、南澤北東部部長 (委任状)、大澤関東東部部長、松香東新部部長、長谷川あずさ部部長、若木湘南・沖縄部部長 (委任状)、小原富士山部部長

【役員会構成メンバー】(9 名)

田中行政監事、漆畑財政監事、駒田文献・組織検討委員会委員長、原 J E F 運営委員会委員長、仙洞田ヒストリアン、長尾副会計、小林東日本区事務所所長、澁谷ワイズメネット委員会委員長、有田担当主事 (代行)

【オブザーバー】(12 名)

大野アジア太平洋地域会長、利根川恵子次期国際議員、清藤次期書記、荻野次期会計、小山次期地域奉仕・Y サ事業主任、利根川太郎次期国際・交流事業主任、佐藤次期会員増強事業主任、小谷次期北海道部部長、後藤次期あずさ部部長、小松次期湘南・沖縄部部長、山本次期副書記事、大澤次期担当

【欠席者】

座間副書記、山下 LT 委員会委員長／IT アドバイザー、栗本 Change! 2022 推進委員会委員長、佐竹広報・伝達 (PR) 専任委員、長澤トラベルコーディネーター、石井東日本区ユース代表、工藤次期関東東部部長、前原次期富士山部部長、松村次期ワイズメネット委員会委員長

【記録】衣笠東日本区書記

開会挨拶：大久保東日本区理事

ウクライナに対し東日本区として募金活動を続けている。今日は議事が多いので皆様のご協力をお願いする。

出席者確認：議決権保有役員の出席者数は 16 名中 15 名 (委任状 2 通含)

(1 名遅れて出席)

定足数確認：11 名 (議決権保有役員 16 名の 2/3 以上の出席)

東日本区定款第 8 条第 4 項議長 (大久保理事)：役員会成立要件 (定足数 11 名) を満たし成立を宣言

議事録署名人選出：板村直前理事と佐藤次期理事が指名され、承認された。ワークブックの訂正

P3 次期役員名簿修正：法人推進委員会委員長を板村哲也から大久保知宏に修正

P4 プログラム修正：第 11 号議案 (法人推進委員会規則制定の件) は、議案から報告事項に変更し、法人推進委員会報告の中に入れる。従って第 11 号議案は削除。第 12 号議案を第 11 号議案とする。

P5 プログラム修正：東日本区事務所人事委員会の報告を国際・アジア太平洋地域報告の後に入れる。

P5 プログラム修正：各部活動報告について大澤関東東部部長の後に松香東新部部長を入れる。

1. 議案審議：議長 大久保理事

第 1 号議案「第 2 回役員会議事録承認の件」提：大久保理事

資料：第 2 回役員会議事録案 (ワークブック) 採決結果：承認

議決権保有役員 15 名中、議長を除き 14 名賛成 (区書記への委任状 2 通を含む) (過半数 8 名)

第 2 号議案「ウクライナ募金の東日本区ワイズ基金からの支出の件」

提案者：大久保理事

ウクライナ緊急支援募金を募金目標 100 万円として 3 月 31 日迄行い、結果 737,000 円となった。募金目標 100 万円との差額については東日本区ワイズ基金委員会に基金からの支出を諮る。3 月 31 日以降も募金があると思われるので、送金時点での募金額との差額を依頼する。

(ここで議決権保有役員 1 名出席) 採決結果：承認

議決権保有役員 16 名中、議長除き 15 名賛成 (区書記への委任状 2 通含む) (過半数 8)

第 3 号議案「第 25 回東日本区大会の開催方法の件」

提案者：大久保理事 補足説明：山田大会実行委員長

資料：第 25 回東日本区大会の予定について (ワークブック)

これまで通常どおりの大会を目指してきたが、コロナ禍の状況より Zoom による開催とする。掛かる費用の一部でもウクライナやミャンマーの人々の平和と安全を祈り、献金に向けられればという願いも込めて決断した。

第 25 回東日本区大会は 6 月 4 日午後 1 時から午後 6 時半まで、翌 6 月 5 日（日）の午前 9 時から午後 12 時半まで Zoom にて開催。

主な変更点は下記の通り。登録費用

シニア（メン、メネット） 16,000 円→無料コメント含むユース 8,000 円→無料会場：ホテル東日本宇都宮→Zoom

東日本区大会に関わる実費は、東日本区予算における大会開催支援金から賄う。採決結果：承認

議決権保有役員 16 名中、議長を除き 15 名賛成（区書記への委任状 2 通含む）（過半数 8 名）

第 4 号議案「2021-2022 年度 東日本区会計中間決算および監査報告の件」

提案者：大久保理事

資料：第 4 号議案中間会計決算書および監査報告書（事前送付資料）採決結果：承認議決権保有役員 16 名中、議長を除き 15 名賛成（区書記への委任状 2 通含む）（過半数 8 名）

第 5 号議案「2021-2022 年度 Change ! 2022 会計中間決算および監査報告承認の件」

提案者：大川会員増強事業主任

資料：第 5 号議案 Change ! 2022 会計中間決算および監査報告書（事前送付資料）採決結果：承認

議決権保有役員 16 名中、議長を除き 15 名賛成（区書記への委任状 2 通含む）（過半数 8 名）

第 6 号議案「2022-2023 年度東日本区理事方針の件」

提案者：佐藤次期理事

資料：2022-2023 年度理事方針（ワークブック）採決結果：承認

議決権保有役員 16 名中、議長を除き 15 名賛成（区書記への委任状 2 通含む）（過半数 8 名）

第 7 号議案「2022-2023 年度会計予算承認の件」

提案者：佐藤次期理事

資料：2022-2023 年度東日本区予算案（ワークブック）修正：下記を修正する。

委員長／専門員 → 委員長／専任委員

前期、後期の会員数を修正して再計算する。

東日本区大会負担金 → 東日本区大会支援金上記箇所を修正した後の採決結果：承認

議決権保有役員 16 名中、議長を除き 15 名賛成（区書記への委任状 2 通含む）（過半数 8 名）

第 8 号議案「会津クラブ解散承認の件」

提案者：大久保理事

ワイズメンズクラブ青山会長から 2021 年 12 月開催の例会をもってクラブを解散したい旨の申し出を受けた。存続の可能性を打診したが、クラブメンバーの高齢化、新しいメンバーが入らない等の理由で存続は、不可能との結論になった。2021 年 12 月 31 日付で解散を認めることとする。

採決結果：承認

議決権保有役員 16 名中、議長を除き 15 名賛成（区書記への委任状 2 通含む）（過半数 8 名）

第 9 号議案「2023-2024 年度 第 27 回東日本区大会ホストクラブ（十勝クラブ）承認の件」

提案者：大久保理事

2023-2024 年度第 27 回東日本区大会（山田理事）のホストクラブに北海道部の十勝クラブから立候補があった。第 27 回東日本区大会のホストクラブを十勝クラブとすることのご承認を願う。

採決結果：承認

議決権保有役員 16 名中、議長を除き 15 名賛成（区書記への委任状 2 通含む）（過半数 8 名）

第 10 号議案「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区文書管理規程制定の件」

提案者：大久保理事

資料：ワイズメンズ国際協会東日本区文書管理規程および文書作成の手引き（ワークブック）

質疑・意見：第 3 条（帰属）の「業務を遂行する過程で作成または入手した日本語訳文、国際憲法、部大会の関係文書に係る作成文書の所有権その他の一切の権利は区に帰属する」に関して。

田中行政監事：限定列举されている、「日本語訳文」は、東西日本区合同の翻訳チームで作成しており、また、「国際憲法」は国際協会、「部大会の関係文書」は部が作成したものであり、「これらの一切の権利を区に帰属する」と定めるのは理解できない。

利根川次期国際議員：相手を送ってきた文書については、我々は、帰属権を持ってない。入手した文書を基に区が作ったものが所有権になると理解している。

仙洞ヒストリアン：文章管理規定だから「文書とは何か」を定義する項目が必要。その後に適用範囲とか帰属を記載したほうが分かりやすい。

大久保理事（議長）：大切な文書の管理規定なので疑義が発生しないような形にしたい。佐藤次期理事から動議：この議案について次回に持ち越したほうが良い。

大久保理事（議長）：セコンド確認衣笠書記のセコンド（賛意）あり。

佐藤次期理事からの動議：第 10 号議案は、今第 3 回役員会では議案にせず常任役員会および文献・組織検討委員会に諮りながら第 3 条の帰属の部分について整理をして第 4 回役員会での上程を目指したい。

採決結果：動議を承認

議決権保有役員 16 名中、議長を除き 15 名賛成（区書記への委任状 2 通含む）過半数 8 名）

第 11 号議案「東日本区奈良備賞選考委員の任命の件」

提案者：大久保理事

1 名欠員になっている委員に渡辺喜代美ワイズ（+勝クラブ）

を任命したい。これにより東日本区奈良偉賞選考委員会の委員は下記のとおりとなる。

委員長（職責委員）：大久保知宏

委員：駒田勝彦（甲府 2 1）、原俊彦（富士五湖）、渡辺喜代美（+勝）採決結果：承認

議決権保有役員 16 名中、議長を除き 15 名賛成（区書記への委任状 2 通を含む）（過半数 8 名）

◇報告事項

(1)「Y's x SDGs Youth Action2022」東日本区からの助成金について 大久保理事

先の役員会で承認された範囲での費用支出となるため、総額 1,735,000 円の内、東日本区が負担する 4 割である 694,000 円の支出を経常会計から行うことを常任役員会で決議した。

選考結果

3 月 6 日、応募総数 18 チームによるプレゼンテーションを経て、選考委員会において、以下の 10 チームを選考した。

No.	選考チーム名称および企画名	支援金	備考（推薦団体等）
2	とちぎ YMCA 高校生ボランティアグループ「つばみ」みんなの居場所作りを目指して「つばみ食堂」を展開したい	100,000 円	宇都宮クラブ
5	富士宮高校会議所 SDG s 実践「マスマス元肥を使って富士宮をマスマス元気に！！」	200,000 円	富士宮クラブ
6	盛岡 YMCA 子どもの人権チーム 子どもの人権プロジェクト	200,000 円	盛岡 YMCA もりおかクラブ
7	オール熊本 YMC リーダー会 ぶらっとほーむ へいつまでも私たちの居場所に～	200,000 円	
9	NPOSalamatA&Philippines Sky Light Project (PSP) ともに希望の絵本・ともに奏でる教科書・海を越えて届けろ！	200,000 円	埼玉 YMCA 所沢センター 所沢クラブ
10	日星高等学校 看護科 20 期生 西舞鶴商店街活性化プロジェクト	175,000 円	
11	「まちごとキッズスペース」プロジェクトチーム 放課後学舎「まちごとキッズスペース」プロジェクト	200,000 円	滋賀 YMCA
13	中央大学 国際ボランティアサークル「ひつじくも」 クリーンな街づくり計画	60,000 円	日本 YMCA 同盟 学生 YMCA 事務局
15	滋賀 YMCA アウトドアクラブ・リーダー会 「風の谷キャンプ場 ハニワールド・プロジェクト」	200,000 円	滋賀 YMCA
16	山梨 YMCA ユースリーダー会 やまなしアクション！ 2022	200,000 円	山梨 YMCA 甲府 21 クラブ

今回 8 チームが選考から漏れたが、可能な限り、地域のワイズ等に声をかけて応援をお願いします。

(2)「Be Healthy Program」について 大久保理事

競技方法：2022 年 5 月 1 日～5 月 20 日の間の累積歩数を競う。歩数は自己申告。

表彰：年代別に上位者を表彰。

参加費用：2,000 円

参加方法：下記アドレスからカード決済画面に進み、カードにより参加費用を支払う。参加費用を支払った時点でエントリーは完了。エントリー締切：2022 年 4 月 30 日

アドレス：<https://www.tochigiymca.org/payment/bhp.php>

画像投稿：競技中の様子の写真を投稿できるサイトを用意

競技詳細：エントリー者に報告方法、画像投稿の仕方等の

詳細を連絡する。大澤関東東部部長：参加資格はワイズに限るか？

大久保知事：どなたでも歓迎する。

大澤関東東部部長：歩く人に案内したら会員増強にも大いに役立つ。

(3) 東日本区活動報告

・東日本区の現況 大久保理事

会員増強については厳しい状況が続いている。2021 年 7 月 1 日 800 名 59 クラブが 2022 年の 1 月 1 日現在、794 名で 6 名減。クラブも会津クラブ解散で 58 クラブになった。会員増強事業は毎月、拡大 EMC 事業委員会が行われており情報交換がなされている。その中でも甲府クラブを中心として新クラブの設立準備が行われている。

(4) アジア太平洋地域会長活動報告 大野アジア太平洋地域会長

ワークブック修正

ガイドラインの見直し→国際憲法の見直し

グッドスタンディングクラブから選出 →グッドスタンディングクラブから推薦

国際の動きとして国際憲法の見直しが以下のように検討されており 5 月の ICM で協議される。

①国際組織と各クラブの優先順位を明確にし、現代に合うよう近代化し、国内外の会員間の親睦を第一の目的とする。

②名誉会員の基準やその称号を明確に定義すること

③グッドスタンディングクラブで構成される総会を導入し、少なくとも 4 年に 1 度開催する。

④IEO にも国際議会での投票権を与え、異なるエリアから選出することを提案する。

⑤ICM 候補者は、国際的な事項の投票権を持つグッドスタンディングクラブから推薦される。

⑥国際議会の開催を、最低 1 回から 2 回に増やす。

⑦国際憲法の中に、区とエリアの憲法の用語の定義について検討する別のセクションを設ける。

(5) 利根) 1 2022-2023 年度国際議員／2023-2024 年度アジア太平洋地域会長から挨拶

(6) 東日本区事務所人事委員会報告 佐藤委員長

「東日本区事務所長小林隆氏の任期延長」について審議を行った。

①小林氏本人から継続について了承を得ている。②東日本区事務所人事委員会規則に定める任期 5 年を超えてない。③板村理事年度に契約を結んでいる。この 3 点で協議した結果、小林氏の東日本区事務所長の継続が決定した。

(7) 各事業主任活動報告（ワークブックに基づいて報告が行われた）

○CS・Y サ事業主任活動報告 CS・Y サ事業主任深尾香子
Y's x SDGs Youth Action2022 審査会で不合格になったチームの紹介と各地のクラブから伴走を希望する声があがり YMCA 十ユース+ワイズによる新たな繋がりが築かれることを期待

「プロボノ」についての説明があり、ワイズの宝として活用する企画が紹介された。

○会員増強事業主任活動報告 会員増強事業主任：大川貴久
毎月発行される Change!2022 ニュースに各部長等の現状報告等が載っているので見て欲しい。

○国際・交流事業主任活動報告 国際・交流事業主任 山田公平

ウクライナ支援について：ヨーロッパの YMCA とワイズメンズクラブが協力して難民の救済活動に取り組んでおり、日本 YMCA 同盟も難民受け入れを検討している。

ミャンマー支援について：軍事政権に反発する少数民族等の国内難民が 100 万人単位でタイの国境付近に出ている。ミャンマーの YMCA は、日本の YMCA とワイズメンズクラブに協力を要請している。

○ユース事業主任活動報告 ユース事業主任相磯優子
Y's x SDGs Youth Action2022 の情報が各クラブにどこまで届いているか甚だ疑問。その情報を発信し共有していただきたい。

各部部长活動報告（ワークブックに基づいて報告が行われた）

北海道部活動報告北海道部部长 中村義春

関東東部活動報告 関東東部部长大澤和子

東新部活動報告書東新部部长松香光夫

新潟と新宿周辺の 2 箇所の新クラブ設立が見えてきた。

あずさ部活動報告 あずさ部部长長谷川あや子

富士山部活動報告 富士山部部长小原進一

（北東部南澤部長、湘南・沖縄部若木部長は欠席）

委員会・専任委員報告（ワークブックに基づいて報告が行われた）

文献・組織検討委員会活動報告 文献・組織検討委員会委員長 駒田勝彦

2021-2022 年度文献・組織検討委員会から理事へ答申した事項

①議事進行についての指針（改定案）

②法人推進委員会規則（新規制定案）

③文書管理規程（新規制定案）

④定款施行細則改定（改定案）

⑤東日本区災害等緊急支援基金要項（新規制定案）

⑥理事キャビネット活動の手引き（見直し案）

⑦マニュアル、ハンドブック、書籍一覧（見直し案）

JEF 運営委員会活動報告 JEF 運営委員会委員長 原俊彦

コロナの状況下で周年行事、大会イベント等がことごとく中止となり献金も集まらなかった。今回のリーフレット改訂は、会員個人の方々へ献金をお願いする主旨もあり、実施した。

JEF 残高を確認できることが大前提なので通帳は別にして欲しい。

東日本区ワイズメネット委員会活動報告 ワイズメネット委員長澁谷実季

法人推進委員会活動報告 法人推進委員会委員長板村哲也
「注」：本役員会冒頭でプログラム変更：第 11 号議案（法人推進委員会規則制定の件）は議案から報告事項に変更し、法人推進委員会報告の中に入れた。

法人推進委員会規則の内容を含めて報告が行われた。

規則の主旨：法人化したメリットを最大限活用するための方策とサポート。法人推進委員会規則は、ワークブック 11 号議案の内容を参照。委員の任期は 23 年 6 月までだが延長可能。

8 月の臨時代議員会をもって一般社団法人の正式な総会とする。

仙洞田ヒストリアン：クラブが何かの事業やイベントを行う時、例えば一般社団法人甲府ワイズメンズクラブと表現していいのか。

板村委員長：例えば一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区会員 甲府クラブとの表現にしようと委員会で検討している。

指名委員会活動報告指名委員会委員長板村哲也

2022-2023 年度東日本区次々期理事及び 2022-2024 年度財政監事の指名は第 4 回役員会に付議予定

ヒストリアン活動報告東日本区ヒストリアン 仙洞田安宏

YMCA 報告担当主事（代行）有田征彦

次期東日本区担当主事は、光永氏から茨城 YMCA から日本 YMCA 同盟に出向の大沢氏に交代。西日本区の担当主事は有田氏が担当。大澤次期東日本区担当主事から挨拶。

東日本区事務所活動報告東日本区事務所長 小林隆

（山下 LT 委員会委員長／IT アドバイザー、栗本 Change! 2022 推進委員会委員長、長澤トラベルコーディネーター、佐竹広報・伝達（PR）専任委員、石井区ユース代表は欠席）

監事講評 田中行政監事

行政監事は、東日本区の運営が国際憲法、アジア太平洋地域憲法、東日本区定款、その他の各種規則、あるいは一般的な法律や社会規範に則って適切に運営されているかを注意してモニタリングすることが最大の業務である。これまで、全ての常任役員会にオブザーバーとして出席したが、ルールに則り適切に運営されていたことを評価する。新しい取り組みが行われ、成果も現れていることは、大変喜ばしい。

東日本区のさまざまな活動について、どんな議論があつて、

どんな結論だったかを含めて、より広く東日本区内での情報の共有化に関しては、やや改善の余地がある。理事通信等でのタイムリーな報告や東日本区ウェブサイトでの最新のニュースの提供等、場合によっては常任役員会の議事録の公開等も検討してほしい。

広報の重要性については、理事だけではなく各事業主任、各部長、各委員長、専任委員にも当てはまる。事業主任ニュースが定常的に発行されてないようである。部の活動報告も関東東部、あずさ部の部長通信のようにタイムリーで継続的に行われていない部も多い。東日本区のウェブサイトのリニューアルが進行中であるが、見かけがいくらスマートになっても、タイムリーに情報が提供されなくては、東日本区のメンバーにとっても、あるいは外部へのアピールの面でも意義が薄れてしまう。

ユースアクションは、大変素晴らしい取り組みである。これをニュースリリースという形で、世の中に広くアピールする方策もあったのではないかと思う。積極的な広報への取り組み、それを支える広報 (PR) 専任委員の役割の重要性を再認識していただきたい。

今日は、欠席者が多数いたことは、大変残念であった。

閉会挨拶 佐藤次期理事

お疲れ様でした。田中行政監事の的確な指示、評価をいただいた。盛りだくさんの議事、報告がスムーズに審議されたこと、ありがとうございました。逆境をチャンスに変えて乗り越える発想で活動いただければと思う。

く役員会終了後 次期役員懇談会を開催＞時間：17 時 15 分～17 時 40 分 Zoom 会議

内容：自己紹介と円滑な事業運営についてフリートーク

司会：清藤次期書記出席者：

佐藤次期理事、山田次々期理事、大久保理事、清藤書記、荻野会計、山本副書記、山口副書記

小山 CS・Y サ事業主任、佐藤会員増強事業主任、利根川太郎国際・交流事業主任、衣笠ユース事業主任

小谷北海道部部长、大久保北東部部長（重複）、深尾東新部部長、後藤あずさ部部长、小松湘南・沖縄部部长

次期役員会構成メンバー

田中行政監事、原 JEF 運営委員会委員長、仙洞田ヒストリアン、小林東日本区事務所長、大澤 YMCA 担当主事

今期役員会構成メンバー

鈴木会計、大川会員増強事業主任、有田 YMCA 担当主事（代行）

議事録署名人
佐藤次期理事

佐藤 重良

議事録署名人
板村直前理事

板村 哲也

以上

2021-2022 年度第 4 回東日本区役員会議事録

日時 2022 年 6 月 3 日 (土)

場所 Zoom によるオンライン会議

2021-2022 年度

第 4 回東日本区役員会議事録

日時：2022 年 6 月 3 日 (土) 19:00～21:00

方法：Zoom によるオンライン会議

出席者：33 名 (オブザーバーを含む)

議決権保有役員 16 名中 15 名 (1 名遅れて出席)

【議決権保有役員会メンバー】(15 名)

大久保理事、佐藤次期理事、板村直前理事、衣笠書記、鈴木会計、深尾地域奉仕 Y サ事業主任、大川会員増強事業主任、山田国際・交流事業主任、相磯ユース事業主任、中村北海道部長、大澤関東東部部長、松香東新部部長、長谷川あずさ部部長、若木湘南・沖縄部部長、小原富士山部部長 (途中参加)

【役員会構成メンバー】(10 名)

田中行政監事、漆畑財政監事、駒田文献・組織検討委員会委員長、原 JEF 運営委員会委員長、栗本 Change! 2022 推進委員会委員長、澁谷ワイズメネット委員会委員長、佐竹広報・伝達 (PR) 専任委員、座間副書記、長尾副会計、小林東日本区事務所所長

【オブザーバー】(8 名)

大野アジア太平洋地域会長、利根川次期国際議員、清藤次期書記、荻野次期会計、山本次期副書記、山口次期副会計、大澤次期担当主事、川口夏菜子次期 RYR

【欠席者】(1 名)

南澤北東部部長、

【役員会構成メンバー欠席者】(4 名)

山下 LT 委員会委員長／IT アドバイザー、仙洞田ヒストリアン、長澤トラベルコーディネーター、石井東日本区ユース代表

【記録】衣笠東日本区書記

開会挨拶：大久保東日本区理事

通常、第 4 回東日本区役員会は、東日本区大会前日に集まて行うのが通例になっているが、今回残念ながらズーム開催になった。締めめの役員会になるので活発な意見交換をしていただきたい。

出席者確認：議決権保有役員の出席者数は 16 名中 14 名。

定足数確認：11 名 (議決権保有役員 16 名の 2/3 以上の出席) 東日本区定款第 8 条第 4 項大久保理事が役員会の成立を宣言した。

議事録署名人選出：板村直前理事と佐藤次期理事が推薦され、承認

連絡事項 (衣笠書記)：採決方法は、挙手または、Zoom の「手を挙げる」機能によってカウントする。採決は、議長を除く議決権保有役員出席数の過半数の賛成で可決承認される。議決権保有役員は、役職を名前の前に表記する。各活動報

告は、原則、年次報告書に基づいて、第 3 回役員会以降、顕著な進捗があった場合や特に報告・アピールしたい内容のみ報告する。また、役員会の終了後に各部長による次期代議員会議長の選出、明日、6 月 4 日～5 日の東日本区大会の案内がある。

議案審議：議長大久保理事

第 1 号議案第 3 回東日本区役員会議事録承認の件

提案者：大久保東日本区理事

資料：ワークブック

採決結果：承認 (議決権保有役員 14 名中、議長を除き (13 名賛成 (過半数 8 名))

第 2 号議案 2021-2022 年度東日本区年次報告書および行政監査中間報告書承認の件

(ここで議決権保有役員 1 名出席)

提案者：大久保東日本区理事

資料：2021-2022 年度年次報告書、2021-2022 年度行政監査中間報告書 (ワークブック)

2021-2022 年度年次報告書および行政監査中間報告書は、6 月 1 日に送付したもの

行政監査報告書は 2021-2020 年度行政監査中間報告書として 5 月 31 日付けで田中行政監事、漆畑財政監事から提出されたもの

採決結果：承認

議決権者数 15 名中、議長を除き 14 名賛成。(過半数 8 名)

第 3 号議案 2022-2023 年度の次々期理事および 2022-2024 年度財政監事の件

提案者：板村指名委員会委員長

資料：ワークブック

東日本区定款第 10 条に基づき、以下のとおり候補者を指名する。

次期理事 佐藤重良

次年度の次期理事 山田公平

次年度の次々期理事 現在未定。決定次第、臨時役員会、臨時代議員会に提案する。

行政監事 田中博之 (継続)

財政監事 小倉恵一 小倉財政監事については略歴を掲載。採決結果：承認

議決権者数 15 名中、議長を除き 14 名賛成。(過半数 8 名)

第 4 号議案 2022-2023 年度役員承認の件 (修正)

提案者：佐藤次期理事

資料：ワークブック

第 2 回東日本区役員会では未定であった、以下の役職が決定したことに伴う修正議案

ワイズメネット委員会委員長 松村仁子

法人推進委員会委員長 大久保知宏

トラベルコーディネーター 加藤重雄

担当主事 大沢篤人

東日本区事務所長 小林隆（継続）
東日本区ユース代表 川口夏菜子採決結果：承認
議決権者数 15 名中、議長を除き 14 名賛成。（過半数 8 名）

第 5 号議案東日本区文書管理規程制定の件（修正）
提案者：大久保東日本区理事
資料：ワークブック
第 3 回役員会の第 10 号議案として上程したが、第 3 条の
帰属の部分についての疑問が出され、常任役員会および文
献・組織検討委員会での再検討の結果を上程
く修正箇所＞
第 3 条：「業務を遂行する過程で作成した文書は、区に帰属
する。帰属文書は許可なく持ち出してはならない。」に修正
第 5 条：「文章作成に当たっては、別途作成する「文書作成
手引き」を参照するものとする。」に修正
採決結果：承認
議決権者数 15 名中、議長を除き 14 名賛成。（過半数 8 名）

第 6 号議案東日本区災害等緊急支援基金要項制定の件
提案者：大久保東日本区理事
資料：ワークブック
文献・組織検討委員会からの答申「東日本区における災害
募金等の取扱いに関する検討について」に基づき上程
災害および社会課題が多い状況の中で、タイムリーに基金
からの支出ができるよう定めたい。基金に関する重要事項
は、常任役員会で審議することにした。常任役員会は、
月 1 回開催するのが一般的なので、タイムリーな基金から
の支出、基金への変更等が可能。ある目的で集まった寄付
金の用途を変更してタイムリーな緊急支援に当てることを
可能とした規定を定める。
採決結果：承認
議決権者数 15 名中、議長を除き 14 名賛成。（過半数 8 名）

第 7 号議案東日本区定款施行細則改定の件
提案者：大久保東日本区理事
資料：ワークブック
東日本区定款施行細則第 5 条第 1 項
BF（ブラザーフード基金）：国際協会での名称変更に伴い、
ビルディングフェロシップに名称を変更
YEOP: プログラムの終了に伴い、削除
HTW（ヒールザワールド）：追加 iGo（アイゴー）：追加
東日本区定款施行細則第 5 条第 3 項（事業主任担
当表）国際・交流事業主任：HTW 追加
ユース事業主任：YEOP 削除、iGo 追加
東日本区定款施行細則第 6 条第 2 項(4)特別委員会：
法人推進委員会を追加
東日本区定款施行細則第 6 条第 2 項(5)
YMI ワールド翻訳グループ：翻訳・通訳グループに名称変
更ワイズ YMCA パートナーシップ委員会：追加
採決結果：承認
議決権者数 15 名中、議長を除き 14 名賛成。（過半数 8 名）

第 8 号議案臨時代議員会実施の件
提案者：大久保東日本区理事
資料：ワークブック
定款第 6 条第 14 項の規定による議案処理を行うもの。
2022 年 6 月下旬に臨時代議員会をメールまたは郵便で実施
する。議案：年次代議員会議事録の承認
2022 年 8 月下旬に臨時代議員会を、一般社団法人総会を兼
ねて行う (Zoom)。
議案：2021-2022 年度東日本区年次報告および行政監査報
告の件（追補）、2021-2022 年度東日本区会計決算および
会計監査報告承認の件
8 月下旬の臨時代議員会の日時を決めて欲しいという要望
が出され、議論の結果、8 月 26 日
（金）19:00 ～に臨時代議員会を開催することおよび臨時代
議員会に向けては、十分余裕を持ったスケジュールで会計
監査を行い、その後、臨時代議員会議案を審議する臨時東
日本区役員会を開催することとなり、本議案に反映された。
なお、会計監査、臨時東日本区役員会の日程については今
後検討する。
採決結果：承認
議決権者数 15 名中、議長を除き 14 名賛成。（過半数 8 名）

オブザーブ参加者の紹介
今回、初めて東日本区役員会に参加した者を中心に、紹介
が行われた。
報告事項
特に報告、アピール等を行いたい者からの発言を求めた。
○原東日本ワイズ基金運営委員会委員長
残高証明 13,308,476 円と預金通帳コピーが小林事務所長
から送られてきた。依頼していた、銀行口座を別にすること
が確認できた。小林事務所長の協力に感謝
○栗本 Change！2022 推進委員会委員長
6 月 25 日に第 6 回ワイズ・ナイトフォーラムを夜の 8 時か
ら開催する。ぜひ皆さん参加していただきたい。
「動画でわかるワイズメンズクラブ」を 1 年前の 7 月に現会
長に 100 部ずつ送っているが、これをより良いものにする
ため 6 月中に改訂するので有効に活用していただきたい。
○板村法人推進委員会委員長
東日本区は、任意団体と一般社団法人のふたつの顔を持っ
ている。内容は、同じものだが法制上あるいは定款上少し
違うものになっている。今回いずれの組織においても年度
末となる。新旧の役員への依頼であるが、東日本区役員の
交代に伴い、一般社団法人の役員交代手続きを行う。従っ
て今期の役員には辞任届を、次期役員には就任承諾書を提
出していただく。今後、案内するので書類が着いたら捺印
して事務所に戻して欲しい。辞任、就任の日付は、本日決
定した 8 月 26 日（臨時代議員会兼一般社団法人総会）になる。
○小林東日本区事務所長
献金に関して、5 月末に国際協会とアジア・太平洋地域に
送金した。アジア・太平洋地域にはミャンマー支援金とし

て 263,658 円を送金した。国際協会にはウクライナ支援金として集まった支援金に JEF からの拠出金を加え、100 万円を送金。また、通常の国際献金 2,815,366 円を送金した。

○深尾 CS・Y サ事業主任

各クラブの活動をブリテン等過去の資料も含め次期の方々と共同作業を進めている。新しくなろうとしている東日本区ウェブサイトにも反映できるようにまとめていきたい。

○山田国際・交流事業主任

ウクライナに関して明日の東日本区大会でも特別の時間を設けている。ヨーロッパの YMCA と日本の YMCA が活発に動いている。ワイズがもっと把握して応援できる体制を作ることが、今後の課題と思っている。ミャンマーの件だが、この件も刻々と状況が変わってきていて、対応の在り方も変わってきている。政治難民・国内難民が非常に増えている。タイ国境近くに状況の悪い形で留まっている人たちが多い。これに対して何らかの援助の必要性が確認されている。これも今後の国際・交流事業の一つとして考えていくべきである。

○相磯ユース事業主任

川口夏菜子 RYR にも出席してもらい、ユースアワーを 6 月 5 日（日）14 時から開催する。次期の第 34 回ユースボランティア・リーダーズフォーラムの打合わせを定期的に行っている。山中湖センターで対面の形で行うことを進めている。東京 YMCA 山手センターの江尻担当スタッフを含めて、次期の衣笠事業主任と私で打合わせを行っている。今後 YMCA を通じての参加募集、ワイズへの参加募集を 7 月～8 月に案内する。

○澁谷ワイズメネット委員会委員長

委員会の開催を 5 月によりやく開催することができた。明日の区大会のメネットアワーについての話し合いを行った。メネットアワーは、日本盲人キリスト教伝道協議会の龍崎靖子さんを講師に招いている。全盲の方で色々な働きを地域や盲人キリスト教伝道協議会で行っている。

○長谷川あずさ部部長

あずさ部の甲府やまなみクラブの設立総会が 6 月 11 日に行われる。ただし、会場の関係等で人数を絞り 40～50 人程度の規模で行う。チャーターナイトは 9 月に入ってから行う。

○山田ワイズ YMCA パートナースhip委員会リエゾン

パートナースhip検討委員会は、年に何回か協議をしてきたが、もう 5 年を経過している中で話し合いは進んでいても、なかなか具体的な共同事業に結びつかなかった。その中で SDGs ユースアクションができた。私たちがユースの社会的な活動を支援することによって新たな、また既存のユースグループが社会問題について関心を持って行動に移すということを可能にしようということで、東西日本区、日本 YMCA 同盟の 3 つの団体が一緒になって実行することになった。3 月に選考委員会で選考し、18 チーム中から 10 チームが選ばれた。この 10 チームに対して最大 20 万円の助成金を出す。活動チームは様々で、YMCA だけではなく、学 Y もあれば一般の NPO の若者の活動もある。来年の 2 月に行われる東西日本区交流会の折に優秀なプログラムの

発表を予定している。明日（6 月 5 日）にユースアワーが予定されているが、そこでもユースアクションの活動について報告がある。このプログラムは全国のワイズにとって、そしてワイズと YMCA の共同事業として、これから注目すべき活動ではないかと思う。

次期の次期（2023-2024 年度）東日本区理事を仰せつまっている。佐藤次期理事の代わりにドバイの RDE サミットに参加した。ヨーロッパのワイズの人たち、YMCA の人たちのウクライナ支援の働きがよくわかった。明日の東日本区大会でこのウクライナのことをインタビューを含め取り上げている。

監事講評

田中行政監事

1 年を通じて、そして明日、明後日の大会を含めてリアルで行えなかったのは大変残念ではあるが、皆さんが同期の事業主任と、同期の部長と、あるいは、東日本区役員会メンバーの仲間と共に活動されたことは、これからのいろいろな形でワイズの生活にも大変役に立つと思う。親睦と交流をこれからも深めていただきたい。

今年度の活動については、行政監査中間報告書に書かせていただいた。本来、行政監査は理事の活動がコンプライアンス上問題ないか監査するのが業務であるが、あえて広げて東日本区役員会、あるいは東日本区全体のことについても言及させていただいた。かつ次期へのアドバイス・提言も盛り込んだ。今期・次期の方は、ぜひ精読いただきたい。今期、新しい取り組みも含めてコロナ禍にあっても活発に活動されたことを大変評価している。ただ、毎年のことだが、年度初めに計画したことが全部達成できたかという点、決してそうではない。できなかったことに関して、なぜできなかったのか、どうしたらできたかを年次報告書に書いていただきたかった。年次報告書で日記のような記載も見られるが、それも記録としては必要だが、次期へ繋げるということで、うまくいかなかったことも、原因あるいは発見した課題をどうすべきだったかを書いていただきたかった。これからの 1 カ月間、できなかったことを少しでもできるようにする様、尽力いただきたい。今期の方々は、次期の方々に必ず引き継いで、東日本区全体としてのレベルアップにつなげていただきたい。

広報の重要性については毎回役員会で指摘している。東日本区ウェブサイトがリニューアルされれば、それをうまく活用して、大きく改善されることを期待している。東日本区ウェブサイトは 6 月中旬に完成して 7 月から運用開始と聞いたが、厳しいかもしれない。ただ 7 月 1 日には、基本部分だけでも良いのでリリースしていただいて、後で徐々に部品を加えていくことを行っていたらと思う。1 年間、口うるさいと受け止められたかもしれないが、東日本区のこと、ワイズの発展のことを思っていることだと思いたい。

漆畑財政監事

今期のスタッフ・役員の方、これだけの準備をするのに、

先ほど田中行政監事も言っていたが、口うるさい監事であったので皆さんご苦勞があったと思う。その分出来上がった書類は安心して見ることができた。会計に関してはまだシステムが完全に移行されていない状況で、臨時で作ったプログラムがまだ走っているので、早めに対処いただきたい。Zoom で全てができてしまう時代が変わってきた。全て四谷に集まって運営をする時代は終わった。そのことも踏まえて経費の課題、持っている設備の課題（コピー機等）がある。最近はレジュメ等を事務所で印刷し郵送することは少なくなった。その分いろいろな意味で余裕ができた。費用対効果含めて、この大会が終わった後にしつかり運営方法、運用の仕方を検討することに目を向けないといけない時期が来た。ぜひこれからも東日本区のために努力していただきたいし‘。

閉会挨拶佐藤次期理事

田中行政監事、漆畑財政監事からタイムリーで的確なご指導をいただき感謝申しあげる。改善すべきところは改善し、新しい取り組みも行いたいと思う。明日の代議員会、東日本区大会の前で大変タイトな中で資料をまとめられたことに敬服する。この勢いで、明日の東日本区大会を成功へといていただきたい。

第 4 回役員会終了後：各部長によって次期代議員会議長の選任を行った結果、長谷川あずさ部部长が選任された。

議事録署名人
佐藤次期理事

佐藤 重 良

議事録署名人
板村直前理事

板 村 哲 也

以上



ワイズメネット委員長
澁谷 実季(所沢)

皆さまに支えられて

2021-2022 年度を振り返り、長期化するコロナ禍に置かれ、委員会活動は容易ではなく停滞していました。多くの方の支えがありつつも、対面での活動が出来ず悔しさともどかしさが残る年度となりましたが、ワイズメネットアワーを開催できたことは大きな喜びでありました。

今年度の主題は、「ワイズメネットの強みを活かそうー新たな可能性を求めて」と前年度同様に掲げました。この主題の結果は何かと考えますと、明確な結果は出せませんでしたが、今後のワイズメネットの在り方を皆さまと考えていくきっかけとなったのではないかと思います。また、ワイズメネットクラブ創設の可能性を検討していくきっかけともなりました。次年度への引継ぎとはなりますが、実現に向けて始動していただければと思います。

今年度の活動報告について。ワイズメネット献金については、344,900 円(内訳: 絵本事業 187,500 円、東日本支援 82,500 円、国際プロジェクト 60,100 円、国際登録費 14,800 円)をお寄せ頂き、心よりお礼申し上げます。絵本事業は、YMCA の幼児施設・児童施設に 60 施設 120 冊の絵本を贈呈いたしました。絵本を始めとして、科学的な本の希望も多く、子どもたちの知性の成長に役立つものが選ばれています。東日本大震災支援金として石巻広域クラブの「3.11 追悼と感謝の集い」、「被災地・東北・フクシマの旅」のモニターツアーを催行の事業に対して支援金を贈呈しました。国際プロジェクトは、ウクライナ YMCA による「脆弱な子どもたちの健康的なライフスタイルを促進するツールとしてのスポーツと非正規教育」に対して献金をお送りしています。今は事業が困難な状況ではありますが、一日も早い終息を願うばかりです。

また、委員会メイン事業となる東日本区大会に於けるワイズメネットアワーの開催が来ました。第 1 部の事業報告、委員長交代式、東日本大震災支援贈呈、第 2 部は日本盲人キリスト教伝道協議会会員の龍崎靖子様より「盲伝と私～一言の贈り物～」と題して講演をしていただきました。慣れない Zoom 開催となり若干のトラブルに見舞われましたが、メネットに限らずワイズメンの方々の参加も多く、賑わいのあるメネットアワーとなりました。委員会招集は対面で は叶わず、Zoom やメール等で連絡を取り合い、特にワイズメネットアワーの準備のために委員会を持ち、各連絡員、事業主査の皆さまにお集まり頂き和やかに話し合いを持ちました。

3 期に渡り委員長を務めさせて頂きましたが、委員会メンバーを始め東日本区役員の方々に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。次年度松村仁子委員長にバトンを引き継ぎます。

